

札幌医科大学要覧

平成24年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	2
(3)	組織機構図	3
(4)	役職員	4
(5)	名誉教授	8
(6)	名誉博士	8
(7)	正職員数	9
	ア 総括表	
	イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数	
	ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数	
	エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数	
	オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数	
	カ 保健医療学部職員数	
	キ 医療人育成センター職員数	
	ク 附属病院職員数	
	ケ 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	13
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
	オ 特設講座	
(9)	文部科学省GPの採択・実施状況	27
(10)	国際交流	28
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
	ウ 教員在外研究等	
	エ 国際医学交流センター	
(11)	標本館	30
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	31
(1)	学生に関する事項	31
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	33
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
(3)	国家試験合格状況	34
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
(4)	研究生数	35
(5)	修士及び博士(医学)の学位授与者数	36
(6)	修士及び博士(保健医療学)の学位授与者数	36
3	附属病院	37
(1)	沿革	37
(2)	歴代病院長	38
(3)	患者概況	39
	ア 年間延患者数	
	イ 1日平均患者数	
(4)	中央部門稼働実績概況	40
	ア 放射線部使用状況	
	イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数	
	ウ 薬剤部調剤件数	
	エ 手術部手術件数	
(5)	分娩件数	43
(6)	病床数	44
(7)	病理解剖件数	45
(8)	医療相談状況(平成23年度)	46
	ア 各科別件数	
	イ 相談内容別件数	
(9)	病院経営概況	47
	ア 病院診療収入稼働額	
	イ 医療行為別診療収入稼働額	

4	医学部附属フロンティア医学研究所	48
(1)	沿革	48
(2)	歴代研究所長	48
(3)	歴代研究所副所長	48
(4)	組織	48
(5)	研究計画の概要	48
5	医学部教育研究機器センター	50
(1)	沿革	50
(2)	歴代施設部長及びセンター所長	50
(3)	組織	51
6	医学部動物実験施設部	52
(1)	沿革	52
(2)	歴代施設部長	52
(3)	組織	52
(4)	関連委員会・指針	52
(5)	事業の概要(平成23年度)	53
	ア 施設利用者数	
	イ 実験動物購入数及び飼育数	
	ウ 実験動物検疫検査実績数	
7	附属総合情報センター	54
(1)	沿革	54
(2)	センター所長	54
(3)	組織	54
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況	54
	(情報システム部門)	
	ア 教育支援システム	
	イ 研究支援システム	
	ウ 地域医療支援システム	
	エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
	(図書館部門)	
	ア 組織・施設概要	
	イ 蔵書	
	ウ 入館者数内訳(平成23年度)	
	エ 利用概要(平成23年度)	
	オ 地域医療支援(平成23年度文献複写受付)	
	カ 特徴的な業務	
8	附属産学・地域連携センター	58
(1)	沿革	58
(2)	歴代センター所長	58
(3)	組織	58
(4)	業務概要	58
	ア 研究支援	
	イ 教育支援	
	ウ 知的財産の管理活用	
(5)	文部科学省科学研究費助成事業	59
(6)	受託研究受入れ状況	59
(7)	特許出願等の状況	59
9	緩和医療学講座	61
(1)	沿革	61
(2)	担当教授及び代表教員	61
(3)	組織	61
(4)	研究計画の概要	61
10	分子標的探索講座	62
(1)	沿革	62
(2)	担当教授	62
(3)	組織	62
(4)	研究計画の概要	62
11	生体工学・運動器治療開発講座	63
(1)	沿革	63
(2)	担当教授及び代表教員	63
(3)	組織	63
(4)	研究計画の概要	63
12	オホーツク医療環境研究講座	64
(1)	沿革	64
(2)	担当教授及び代表教員	64
(3)	組織	64
(4)	研究計画の概要	64
13	道民医療推進学講座	65
(1)	沿革	65
(2)	担当教授及び代表教員	65
(3)	組織	65
(4)	研究計画の概要	65

14	南檜山周産期環境研究講座	6 6
(1)	沿革	6 6
(2)	担当教授及び代表教員	6 6
(3)	組織	6 6
(4)	研究計画の大要	6 6
15	平成24年度収入支出予算	6 7
16	校舎等建物面積	6 8

1 概要

(1) 沿革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙(行)
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止 生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙(行)
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置

平成11年4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年6月11日	新図書館開設
平成12年4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員6名)開設 学務部を廃止し、学生部を設置 医学部に副学部長制(2名)施行 臨床検査医学講座増設
平成12年6月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年4月1日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年4月16日	地域医療支援センター設置
平成14年4月1日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年4月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第69条に基づく認証評価を受ける (財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成16年9月17日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置
平成18年4月1日	附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員2名)開設
平成19年4月1日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成19年10月1日	機器診断学廃止
平成20年2月13日	保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員 大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月1日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年4月1日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年4月1日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年6月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年4月1日	医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更 医科知的財産管理学、病院経営・管理学、放射線診断学を増設 生化学講座を分子生物学講座に名称変更
平成24年3月31日	医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
平成24年4月1日	助産学専攻科設置 救急・集中治療医学講座を改組し、救急医学講座、集中治療医学を増設 遺伝医学増設
平成24年9月1日	附属病院中央写真室を廃止し、教育研究機器センター画像・映像支援部門を設置 外科学第二講座を改組し、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学講座を増設

(2) 歴代理事長等

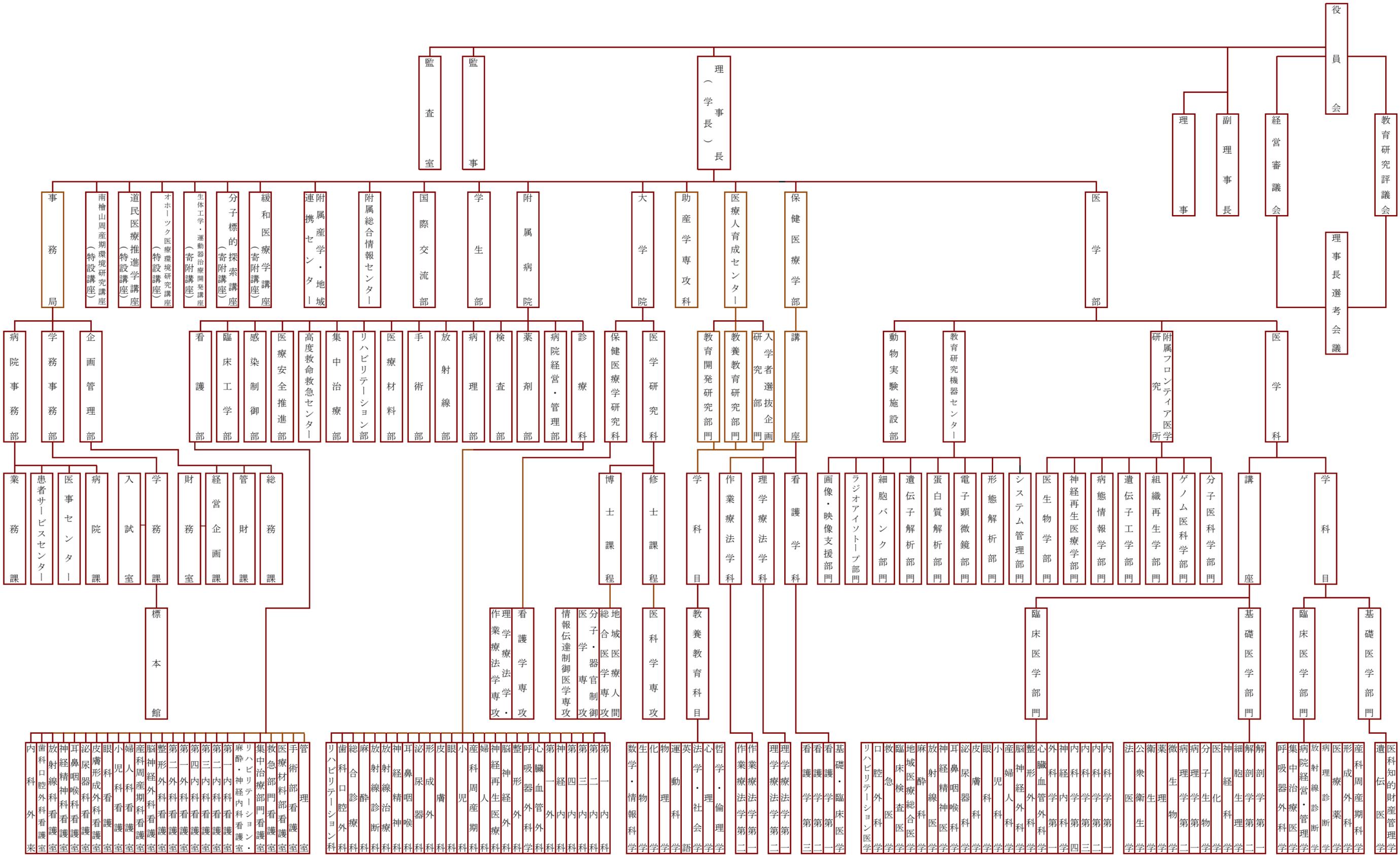
◎ 理事長

平成19年4月1日	—	平成22年3月31日	今井浩三
平成22年4月1日	—	現	島本和明

◎ 学長

昭和25年4月1日	—	昭和36年3月31日	大野精七
昭和36年4月1日	—	昭和40年3月31日	中川諭
昭和40年4月1日	—	昭和45年2月1日	新保幸太郎
昭和45年2月1日	—	昭和47年2月8日	(学長職務代理) 渡邊左武郎
昭和47年2月9日	—	昭和55年2月8日	渡邊左武郎
昭和55年2月9日	—	昭和61年2月8日	和田武雄
昭和61年2月9日	—	平成4年2月8日	菊地浩吉
平成4年2月9日	—	平成10年2月8日	谷内昭
平成10年2月9日	—	平成16年2月8日	秋野豊明
平成16年2月9日	—	平成22年3月31日	今井浩三
平成22年4月1日	—	現	島本和明

(3) 組織機構図 (平成24年10月1日現在)



(4) 役職員

(平成24年10月1日現在)

□法人

		◎役員会			
理 事	長		島 本 和 明		
副 理 事	長	(管理・運営担当)	平 山 和 則		
	事	(教育担当)	黒 木 由 夫		
	"	(学術研究担当)	乾 公 美		
	"	(医療担当)	平 田 公 一		
	"	(経営担当)	白 崎 賢 治		
監 事			篠 本 道 男		
	"		渡 辺 英 一		

		◎経営審議会			
議 委	長		島 本 和 明		
	員		平 山 和 則		
	"		黒 木 由 夫		
	"		平 田 公 一		
	"		白 崎 賢 治		
	"		太 田 三 夫		
	"		恩 村 裕 之		
	"		川 崎 毅 一 郎		
	"		山 口 博 司		
	"		徳 田 禎 久		

		◎教育研究評議会			
議 委	長		島 本 和 明		
	員		黒 木 由 夫		
	"		乾 公 美		
	"		平 田 公 一		
	"		傳 野 隆 一		
	"		齋 藤 利 和		
	"		塚 本 泰 司		
	"		佐 藤 昇 志		
	"		當 瀬 規 嗣		
	"		高 橋 弘 毅		
	"		澤 田 典 均		
	"		篠 村 恭 久		
	"		山 下 敏 彦		
	"		大 日 向 輝 美		
	"		片 寄 正 樹		
	"		小 塚 直 樹		
	"		松 山 清 治		
	"		藤 井 博 匡		
	"		永 井 正 博		
	"		空 閑 良 壽		

		◎監査室			
室	長 (兼)	教授	氷 見 徹 夫		

□大学

学 長 (兼) 島 本 和 明

		◎事務局			
事 務 局	長		永 井 正 博		
企 画 管 理 部	長 兼		齊 藤 仁		
学 務 事 務 部	長		兼 田 秀 明		
病 院 事 務 部	長		伊 藤 徹 彦		
総 務 課	長		高 橋 静 治		
管 財 課	長		山 和 彦		
経 営 企 画 課	長 兼		安 原 達 也		
財 務 課	長		傳 野 隆 一		
学 務 課	入 試 室 長 (兼)		白 戸 昌 義		
病 院 課	長		樋 渡 敏 明		
医 事 セ ン タ ー	長		横 山 秀 視		
患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	長				
業 務 課	長		内 藤 智		

◎医学部

学 部 長 (兼) 教授 黒 木 由 夫
 副 学 部 長 (〃) 〃 高 橋 弘 毅
 〃 (〃) 〃 澤 田 典 均

学 科 目
 基礎医学部門

医科知的財産管理学 教授 石 埜 正 穂
 遺 伝 医 学 (不 在)

臨床医学部門

産科周産期科学 (兼) 教授 齋 藤 豪
 形 成 外 科 学 〃 四 ツ 柳 高 敏
 医 療 薬 学 〃 宮 本 篤
 病 理 診 断 学 〃 長 谷 川 匡
 放 射 線 診 断 学 〃 畠 中 正 光
 病 院 経 営 ・ 管 理 学 〃 土 橋 和 文
 集 中 治 療 医 学 (兼) 〃 山 蔭 道 明
 呼 吸 器 外 科 学 (不 在)

講 座

基礎医学部門 (13講座)

解剖学第一講座 教授 辰 巳 治 之
 解剖学第二講座 〃 藤 宮 峯 子
 細胞生理学講座 〃 當 瀬 規 嗣
 神経科学講座 〃 長 峯 隆
 医 化 学 講 座 〃 黒 木 由 夫
 分子生物学講座 〃 鈴 木 拓
 病理学第一講座 〃 佐 藤 昇 志
 病理学第二講座 〃 澤 田 典 均
 微生物学講座 〃 藤 井 暢 弘
 薬 理 学 講 座 〃 堀 尾 嘉 幸
 衛 生 学 講 座 〃 小 林 宣 道
 公衆衛生学講座 〃 森 満
 法 医 学 講 座 〃 松 本 博 志

臨床医学部門 (23講座)

内科学第一講座 教授 篠 村 恭 久
 内科学第二講座 〃 三 浦 哲 嗣
 内科学第三講座 〃 高 橋 弘 毅
 内科学第四講座 〃 加 藤 淳 二
 神経内科学講座 〃 下 濱 俊
 外科学第一講座 (兼) 〃 平 田 公 一
 心臓血管外科学講座 〃 樋 上 哲 哉
 整形外科学講座 〃 山 下 敏 彦
 脳神経外科学講座 〃 三 國 信 啓
 産婦人科学講座 〃 齋 藤 豪
 小児科学講座 〃 堤 裕 幸
 眼 科 学 講 座 〃 大 黒 浩
 皮 膚 科 学 講 座 〃 山 下 利 春
 泌尿器科学講座 〃 塚 本 泰 司
 耳鼻咽喉科学講座 〃 氷 見 徹 夫
 神経精神医学講座 〃 齋 藤 利 和
 放射線医学講座 〃 (不 在)
 麻 酔 科 学 講 座 〃 山 蔭 道 明

地 域 医 療 総 合 医 学 講 座 教授 山 本 和 利
 臨 床 検 査 医 学 講 座 〃 渡 邊 直 樹
 救 急 医 学 講 座 〃 (不 在)
 口 腔 外 科 学 講 座 〃 平 塚 博 義
 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学 講 座 〃 石 合 純 夫

○医学部附属フロンティア医学研究所

所長 (事務取扱) (兼) 教授 黒 木 由 夫
 分子医科学部門 (不 在)
 ゲノム医科学部門 〃 時 野 隆 至
 組織再生学部門 〃 三 高 俊 広
 遺伝子工学部門 (不 在)
 病態情報学部門 〃 小 海 康 夫
 神経再生医療学部門 〃 本 望 修
 医 生 物 学 部 門 (不 在)

○医学部教育研究機器センター

所 長 (兼) 教授 藤 宮 峯 子
 システム管理部門 (〃) 〃 藤 宮 峯 子
 形態解析部門 (〃) 准教授 小 島 隆
 電子顕微鏡部門 (〃) 〃 二 宮 孝 文
 蛋白質解析部門 (〃) 教授 小 海 康 夫
 遺伝子解析部門 (〃) 〃 時 野 隆 至
 細胞バンク部門 (〃) 〃 藤 宮 峯 子
 ラジオアイソトープ部門 (〃) 〃 畠 中 正 光
 画像・映像支援部門 (〃) 〃 澤 田 典 均

○医学部動物実験施設部

部 長 (兼) 教授 堀 尾 嘉 幸
 副 部 長 准教授 磯 貝 浩

◎保健医療学部

学 部 長(兼)	教授	乾	公 美
副 学 部 長(〃)	〃	大日向	輝 美
〃	(〃)	〃	片 寄 正 樹

看護学科

学 科 長(兼)	教授	大日向	輝 美
基礎・臨床医学講座	〃	一 宮	慎 吾
〃	〃	齋 藤	重 幸
看護学第一講座	〃	大日向	輝 美
〃	〃	城 丸	瑞 恵
看護学第二講座	〃	今 野	美 紀
看護学第三講座	〃	吉 野	淳 一

理学療法学科

学 科 長(兼)	教授	小 塚	直 樹
理学療法第一講座(〃)	〃	乾	公 美
〃	〃	小 塚	直 樹
〃	〃	古 名	丈 人
理学療法第二講座	〃	内 山	英 一
〃	〃	片 寄	正 樹

作業療法学科

学 科 長(兼)	教授	松 山	清 治
作業療法第一講座	〃	中 村	眞 理 子
〃	〃	太 田	久 晶
作業療法第二講座	〃	仙 石	泰 仁
〃	〃	池 田	望
〃	〃	松 山	清 治

◎医療人育成センター

セ ン タ ー 長(兼)	教授	傳 野	隆 一
副 セ ン タ ー 長(〃)	〃	藤 井	博 匡

入学者選抜企画研究部門

部 門 長(兼)	教授	傳 野	隆 一
入学者選抜企画研究部門	〃	傳 野	隆 一

教養教育研究部門

部 門 長(兼)	教授	吉 田	幸 一
----------	----	-----	-----

学 科 目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学	講師	船 木	祝
心 理 学	准教授	田 中	豪 一
〃	〃	高 橋	義 信
法 学 ・ 社 会 学	〃	旗 手	俊 彦
〃	〃	道 信	良 子
英 語	教授	森 岡	伸 郎
英 運 動 科 学	准教授	岡 野	五 郎
物 理 学	教授	高 田	純
〃	〃	松 嶋	範 男
化 学	〃	藤 井	博 匡
生 物 学	〃	吉 田	幸 一
数 学 ・ 情 報 科 学	准教授	大 柳	俊 夫
〃	〃	加 茂	憲 一

教育開発研究部門

部 門 長(兼)	教授	相 馬	仁
教育開発研究部門	〃	相 馬	仁

◎助産学専攻科

専 攻 科 長(兼)	教授	乾	公 美
------------	----	---	-----

◎附属病院

病 院 長 (兼)	教授	平 田 公 一
副 院 長 (〃)	〃	篠 村 恭 久
〃 (〃)	〃	山 下 敏 彦
〃 (〃)	看護部長	鈴 木 康 世

診療科 (26科938床)

第 一 内 科 長 (兼)	教授	篠 村 恭 久
第 二 内 科 長 (〃)	〃	三 浦 哲 嗣
第 三 内 科 長 (〃)	〃	高 橋 弘 毅
第 四 内 科 長 (〃)	〃	加 藤 淳 二
神 經 内 科 長 (〃)	〃	下 濱 俊 一
第 一 外 科 長 (〃)	〃	平 田 公 一
心 臓 血 管 外 科 長 (〃)	〃	樋 上 哲 哉
呼 吸 器 外 科 長 (〃)	〃	樋 上 哲 哉
整 形 外 科 長 (〃)	〃	山 下 敏 彦
脳 神 經 外 科 長 (〃)	〃	三 國 信 啓
神 經 再 生 医 療 科 (〃)	〃	本 望 修 豪
婦 人 科 長 (〃)	〃	齋 藤 豪 豪
産 科 周 産 期 科 長 (〃)	〃	齋 藤 豪 豪
小 児 科 長 (〃)	〃	堤 裕 幸
眼 科 長 (〃)	〃	大 黒 浩 司
皮 膚 科 長 (〃)	〃	山 下 利 春
形 成 外 科 長 (〃)	〃	四 ツ 柳 高 敏
泌 尿 器 科 長 (〃)	〃	塚 本 泰 司
耳 鼻 咽 喉 科 長 (〃)	〃	氷 見 徹 夫
神 經 精 神 科 長 (〃)	〃	齋 藤 利 和
放 射 線 治 療 科 長 (〃)	〃	畠 中 正 光
放 射 線 診 断 科 長 (〃)	〃	畠 中 正 光
麻 酔 科 長 (〃)	〃	山 蔭 道 明
総 合 診 療 科 長 (〃)	〃	山 本 和 利
歯 科 口 腔 外 科 長 (〃)	〃	平 塚 博 義
リハビリテーション科長 (〃)	〃	石 合 純 夫

病院経営・管理部

部 長 (兼)	教授	土 橋 和 文
---------	----	---------

薬剤部

部 長 (兼)	教授	宮 本 篤
---------	----	-------

検査部

部 長 (兼)	教授	渡 邊 直 樹
---------	----	---------

病理部

部 長 (兼)	教授	長 谷 川 匡
---------	----	---------

放射線部

部 長 (兼)	教授	畠 中 正 光
---------	----	---------

手術部

部 長 (兼)	教授	齋 藤 豪 豪
---------	----	---------

医療材料部

部 長 (兼)	教授	加 藤 淳 二
---------	----	---------

リハビリテーション部

部 長 (兼)	教授	石 合 純 夫
---------	----	---------

高度救命救急センター

センター長 (事務取扱) (兼)	教授	平 田 公 一
------------------	----	---------

集中治療部

部 長 (兼)	教授	山 蔭 道 明
---------	----	---------

医療安全推進部

部 長 (兼)	教授	山 下 敏 彦
---------	----	---------

感染制御部

部 長 (兼)	教授	渡 邊 直 樹
---------	----	---------

臨床工学部

部 長 (兼)	教授	山 下 敏 彦
---------	----	---------

看護部

部 長		鈴 木 康 世
-----	--	---------

◎学生部

部 長 (兼)	教授	齋 藤 利 和
(〃)	〃	三 浦 哲 嗣
(〃)	〃	一 宮 慎 吾

◎国際交流部

部 長 (兼)	教授	塚 本 泰 司
(〃)	〃	三 浦 哲 嗣
(〃)	〃	齋 藤 豪 豪
(〃)	〃	松 山 清 治

◎附属総合情報センター

所 長 (兼)	教授	當 瀬 規 嗣
副 所 長 (〃)	准教授	大 西 浩 文
〃		千 葉 真 紀 子

◎附属産学・地域連携センター

所 長 (兼)	教授	佐 藤 昇 志
副 所 長 (〃)	〃	石 埜 正 穂
参 事		湯 田 邦 晴
副 所 長 (兼)		湯 田 邦 晴

(寄附講座)

緩和医療学講座 (兼)	教授	山 蔭 道 明
分子標的探索講座	特任教授	新 津 洋 司 郎
生体工学・運動器治療開発講座	特任教授	名 越 智

(特設講座)

オホーツク医療環境研究講座 (兼)	教授	篠 村 恭 久
道民医療推進学講座	特任教授	和 田 卓 郎
南檜山周産期環境研究講座 (兼)	教授	齋 藤 豪 豪

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目 (基礎医学部門)		
		医 科 知 的 財 産 管 理 学	遺 伝 医 学	計
職 種	教 授	1		1
	教 准 講 助 助 手			
合 計		1		1

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学科目(臨床医学部門)								計
		産 科 周 産 期 科 学	形 成 外 科 学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 経 営 ・ 管 理 学	集 中 治 療 医 学	呼 吸 器 外 科 学	
職 種	教 授	1	1	1	1	1	1	1	1	5
	教 准 講 助 助 手	3	2		3	1		2	1	11
合 計		4	4	1	4	2	1	5	2	23

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所属講座		講座(基礎医学部門)												計	
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学		法 医 学
職 種	教 授	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	教 准 講 助 助 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	11
一般職	研 究 補 助 員	1	1	1											2
	技 能 員	1	1	1											2
合 計		6	6	6	5	5	4	5	5	6	5	4	5	5	67

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所属講座		講座(臨床医学部門)																	計								
		内 科 学 第 一	内 科 学 第 二	内 科 学 第 三	内 科 学 第 四	神 經 内 科 学	外 科 学 第 一	心 臓 血 管 外 科 学	整 形 外 科 学	脳 神 經 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	神 經 精 神 医 学	放 射 線 医 学		麻 酔 科 学	地 域 医 療 総 合 医 学	臨 床 検 査 医 学	救 急 医 学	口 腔 外 科 学	医 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン		
職 種	教 授	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21	
	教 准 講 助 助 手	2	4	1	5	2	2	1	2	2	4	2	3	1	2	1	1	3	3	5	4	3	2	3	1	2	21
一般職	研 究 補 助 員	3	4	1	5	2	2	1	2	2	4	2	3	1	2	1	1	3	3	4							50
	技 能 員	6	5	7	4	3	6	4	7	3	3	6	4	5	4	6	5	3	5	4							102
合 計		12	10	10	11	6	11	7	11	7	9	9	9	8	8	9	8	7	10	5	6	9	8	4	4	194	
合 計		12	10	10	11	6	11	7	11	7	9	9	9	8	9	9	8	7	10	5	6	9	8	4	4	195	

カ 保健医療学部職員数

(単位:人)

所 属		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		計	
		基礎 臨床 医学	看 護 学 第 一	看 護 学 第 二	看 護 学 第 三	理 学 療 法 学 第 一	理 学 療 法 学 第 二	作 業 療 法 学 第 一		作 業 療 法 学 第 二
職 種	授 授 授	2	2	1	1	3	2	2	3	16
	教 准 教	1	3	2	2		1	3	1	13
	講 助 助		2	1	4	1	1		2	11
	師 教 手		1	1	1	1	1	1		6
	助 手		2		1		2	1	1	7
合 計		3	10	5	9	5	7	7	7	53

キ 医療人育成センター職員数

(単位:人)

所 属		入学者選抜企画研究部門	教養教育研究部門									教育開発研究部門	計
			学 科 目 (教 養 教 育 科 目)										
			哲 学 ・ 倫 理 学	心 理 学	法 学 ・ 社 会 学	英 語	運 動 学	物 理 学	化 学	生 物 学	数 学 ・ 情 報 科 学		
職 種	授 授 授	1		2	2	1	2	1	1	2	1	7	
	教 准 教	1	1		1	1	1	1	2	2	1	11	
	講 助 助			1			1	1	1	1	3	9	
計		2	1	3	2	3	1	3	2	3	3	28	
一 般 職	研 究 補 助 員			1								1	
	計			1								1	
合 計		2	1	4	2	3	1	3	2	3	3	29	

ク 助産学専攻科職員数

(単位:人)

所 属		助 産 学 専 攻 科	計
職 種	授 授 授		
	教 准 教	2	2
	講 助 助	3	3
合 計		5	5

ケ 附属病院職員数

(単位:人)

所 属		附 属 病 院																計		
		病 院 経 営 ・ 管 理 部	薬 剤 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リハビリテーションセンター	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	集 中 治 療 部	医 療 安 全 推 進 部	感 染 制 御 部	看 護 部	臨 床 工 学 部	産 科 周 産 期 科	眼 科		耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科
一 般 職	一 般 事 務 職 員	2										1	2						1	6
	技 電 氣 技 能 員				2	2														4
	技 術 補 助 員		1										5							1
計		2	1		2	2						1	7						1	16
医 療 職	臨 床 検 査 技 師			45	5										1					51
	薬 剤 技 師		33																	33
	放 射 線 技 師					45														45
	理 学 療 法 士							6												6
	作 業 療 法 士							3												3
言 語 聴 覚 士							2										1			3
理 療 訓 練 士							2													2
臨 床 工 学 技 士													14							14
歯 科 衛 生 士																			4	4
歯 科 技 工 士																			3	3
視 能 訓 練 士																2	1			2
計			33	45	5	45		13						14	1	2	1		7	166
看 護 職	看 護 師	2									2	1	690							695
	助 准 看 護 師												28							28
計		2									2	1	721							726
合 計		4	34	45	7	47		13			3	1	728	14	1	2	1	1	7	908

コ 事務局職員数

(単位:人)

所 属		事 務 局									
		局 長 ・ 部 長	総 務 課	管 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	業 務 課	計
職 種	局長・部長	3									3
	課長等・主幹		2	3	3	4	4	2	1	2	21
	一般事務		18	14	16	17	22	10	9	7	113
	技師			10		1					11
	守衛員						1				1
	運転補助員		1								1
一 般 職	研究補助手					1					1
	調査交換技師						2				2
	電話交換技師			1							1
	ボイラー技師									1	1
	計	3	21	28	19	23	29	12	10	10	155
医 療 職	栄養士						5				5
	計						5				5
合 計		3	21	28	19	23	34	12	10	10	160

(8) 主な研究題目

ア 医学部

専門 教育 科目	医科知的財産管理学	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 再生医療における生体材料の保護 手術・治療方法の保護 革新的技術の有効な保護 2 医学研究分野における産学連携システムの構築 3 無方式主義による研究創作物の知的財産的保護 4 再生医療技術開発における共通基盤確立に向けた研究
	遺 伝 医 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 人類遺伝学および細胞遺伝学に関する研究 2 染色体異常や多因子遺伝病の背景と遺伝診断、遺伝カウンセリングに関する研究
	産科周産期科学	<ol style="list-style-type: none"> 1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 多嚢胞性卵巣症候群の病態の解明 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	形 成 外 科 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医 療 薬 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	病 理 診 断 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 腫瘍の形態形成及び悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度及び予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	放 射 線 診 断 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 PETやMRI情報に基づく悪性治療の治療効果予測 2 3DMRI画像を用いた股関節唇損傷の診断 3 T2mappingによる悪性軟部腫瘍局所浸潤の検討 4 多時相ASLを用いた血流動態の解析 5 造影コントラスト向上のための撮影条件の検証 6 視神経MRIによる病態解析 7 融合画像におけるアイソトープの集積部位の解剖学的検討 8 アイソトープ治療の適正化とエビデンスの確立 9 産科出血に対するIVR治療並びに被曝線量低減
	病院経営・管理学	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学病院を中心とした病院経営指標の確立とこれに基づく適性人的および経済的資源配置の研究 2 多施設ベンチマークデータ集積による医療効率と疾患傾向の策定に関する研究 3 病院情報の集積と教育手段としての有効な二次利用法の方策の研究 4 医療効率よりの病・病（診）連携のありかた研究 5 簡易リスク管理と多施設検討のための集積と分析ソフトウェア開発

専門 教育 科目	集中治療医学	<ul style="list-style-type: none"> 1 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理ならびに治療に関する研究 2 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 3 重症患者における急性血液浄化療法に関する基礎的、臨床的研究 4 重症急性呼吸不全に関する分子生物学的研究 5 高度侵襲および敗血症における消化管機能ならびに栄養に関する臨床的研究
	呼吸器外科	<ul style="list-style-type: none"> 1 肺癌術後の残存肺における気腫用性変化の研究 2 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 3 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究 4 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究
基礎 医学 部門	解剖学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 消化管の超微形態学および三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経培養による神経細胞の特性の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルと細胞接着装置の機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) 8 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 9 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解剖学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 再生医学と変性疾患の解明のための骨髄幹細胞研究 2 脳腸相関 3 骨格標本を用いた生物人類学的研究 4 バイオメカニクス研究 5 腸管粘膜の修復、再生のための骨髄幹細胞研究 6 骨髄幹細胞を用いた糖尿病治療に関する研究 7 心理ストレス誘発生体反応の分子機構解明
	細胞生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	神経科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医化学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究 2 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 3 コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 4 生体防御関連受容体の構造と機能に関する研究 5 肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究
	分子生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 癌のエピジェネティクス (DNAメチル化とヒストン修飾) 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌におけるマイクロRNAとRNA干渉系の異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析

基礎 医 学 部 門	病理学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発 2 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 3 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 4 胸腺上皮による免疫寛容誘導機構 5 リンパ球抗原と機能 6 移植片拒絶の制御機構 7 分子シャペロンと神経細胞変性機構 8 アポトーシスの分子機構 9 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 10 シグナル伝達機構 11 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 12 遺伝子診断と分子病理 13 寄生虫病と分子病理 14 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 15 重力医学、宇宙医学
	病理学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 生体バリアの分子病理学 2 粘膜の生体防御と病態生理 3 鼻粘膜とタイト結合 4 肝疾患と血液胆汁関門 5 シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 6 上皮細胞の極性形成機構 7 細胞間隙における分子通過機構 8 血液組織関門の制御機構 9 発がん過程における上皮構築破綻の機序 10 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 病原微生物の病原因子に関する研究 2 ウイルス感染によるサイトカイン及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究 3 細胞分化に伴うインターフェロンシステムの変化 4 薬剤耐性機構の解明及び分子疫学 5 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与 6 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析、及びプリオン蛋白蓄積機構の解明
	薬理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明 2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義
	衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 下痢症ウイルスの分子疫学 2 ウイルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行に関する時系列解析
	公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究 6 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究

基礎 医学 部門	法医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構 2 アルコール性・非アルコール性臓器障害の発生・進展機序 3 アルコール性・非アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序と治療法の開発 4 アルコール関連死の病態機序 5 死後CTを用いた新たな死因診断基準の策定 6 死後CTを用いた新たな骨鑑定 7 突然死の分子機構と診断法の開発 8 飲酒経済学と死体経済学 9 新たな危機管理策の検討
	内科学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 消化器疾患の病態解明とその臨床応用 2 消化管病変の画像強調内視鏡診断と遺伝子診断の開発 3 消化器癌の個別化医療とバイオマーカーの開発 4 炎症性腸疾患の再生治療と免疫治療の開発 5 肝胆膵領域における新しい画像診断と遺伝子診断の開発 6 膵癌に対するがんワクチン療法の開発 7 臨床検体を用いたゲノム・エピゲノム解析とその臨床応用 8 がんの分子標的治療の開発 9 膠原病および自己免疫疾患の成因解明 10 ミクリッツ病と全身性IgG4関連疾患の病態解明 11 免疫疾患における新しい治療法の開発
臨床 医学 部門	内科学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究 11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究 12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 14 各種血液浄化法に関する臨床的研究 15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究 16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究

臨床 医 学 部 門	内科学第三講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 特発性間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究 3 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究 4 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究 5 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究 6 気管支喘息の病態、治療に関する研究 7 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究 8 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 9 各種肺疾患の三次元的病態像の解析 10 臨床CT、MRI、超音波像の解析 11 肺気腫の診断、病態に関する研究 12 HRC Tを用いた末梢気道立体構築の研究
	内科学第四講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 膵癌に対する新規動注化学療法の開発 6 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 7 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 8 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 9 劇症肝炎に対する新規治療法の開発 10 胆道癌に対する動注化学療法の開発 11 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 12 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 13 再生不良性貧血及び骨髓異形成症候群における病態解析 14 造血幹細胞移植における予後因子の探索 15 再生不良性貧血及び骨髓異形成症候群における発症因子の探索 16 赤白血病に対する新規治療法の開発 17 多発性骨髓腫に対する新規治療法の開発
	神経内科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症のニューロン死機序の解明及び細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの細胞死のメカニズムの検討 8 神経内科疾患におけるステロイド性骨代謝異常とその治療法の検討 9 神経変性疾患関連遺伝子の検索 10 脳卒中医療と福祉に携わる他職種への卒前卒後の脳卒中教育システムの開発 11 北海道の脳卒中医学連携システムの開発

臨床 医 学 部 門	外科学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 肝不全発生機序と人工肝開発 2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術 3 固形癌に対するがんワクチン免疫療法に関する臨床研究 4 消化器癌術後特異的免疫能変動に関する基礎的・臨床的研究 5 腹腔鏡手術における手術手技および手術器具の研究 6 肝再生医学における遺伝子治療の導入 7 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究 8 膵再生現象と分化誘導に関わる分子学的研究 9 膵の分化と増殖に関わる分子病理学的研究 10 臓器肝移植における再灌流障害発生予防に関する研究 11 アシアログリコプテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究 12 固型癌術後療法とDNAアレイおよびプロテオミクスに関する研究 13 過冷却超低温技術による全肝臓器保存法の開発研究 14 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究 15 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究 16 消化器癌・乳癌の転移・治療に関する分子生物学的研究 17 胃癌の転移形式の差に関わる分子機構に関する研究 18 大腸癌再発危険因子の基礎的・臨床的研究 19 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究 20 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究
	心臓血管外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法術式確立の研究 3 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 6 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 7 弁膜症に対するHomograft弁の保存法と臨床応用の研究 8 ホモグラフトの耐久性に関する研究 9 心筋・血管・心臓弁に対する再生法の研究 10 超音波エコーによる脊髄血流評価に関する研究
	整形外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨肉種の成因に関する免疫学的・分子生物学的研究 2 疼痛マーカーのプロテオミクス解析 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する研究 6 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究 7 神経細胞のイオンチャンネルに関する研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫療法の開発 11 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 12 スポーツ障害と外傷の予防と治療 13 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 14 アルコール性大腿骨頭壊死の発生機序に関する研究

臨床 医 学 部 門	脳神経外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 脊髄損傷の基礎研究 5 血管内手術の基礎的研究 6 神経幹細胞移植に関する研究 7 脊髄誘発電位の臨床応用 8 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 9 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 10 てんかんの病態・治療の研究 11 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 12 頭蓋底手術に対する頭頸部微小解剖研究 13 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 14 Selective Laser Sinteringを用いた術前シミュレーションのための疾患模型の開発 15 移植免疫に対する間葉系幹細胞の免疫原性の解析 16 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 17 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 18 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 19 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 20 ステントを用いた脳動脈瘤治療の研究 21 頸動脈ステント留置術後の残存潰瘍に関する研究 22 抗血小板薬の効果に関する研究 23 脳梗塞におけるガングリオシドの神経再生への関与 24 もやもや病の画像診断に関する研究 25 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究 26 脳卒中の遠隔画像診断に関する研究 27 Bipolar forcepsの付着に関する研究
	産婦人科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 婦人科疾患の超微形態学的研究 8 子宮内膜症の分子生物学的検討 9 卵巣癌での薬剤耐性克服 10 バイスタンダー効果を応用した遺伝子治療の研究
	小児科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 RSウイルス感染症に関する研究 2 ロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎に関する研究 3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究 4 パルボウイルスB19感染症に関する研究 5 先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究 6 脊髄性筋委縮症の遺伝子診断に関する研究 7 新しいカテーテルインターベンション法の開発 8 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 9 造血幹細胞移植に関する研究 10 造血幹細胞移植時の移植片対宿主病 (GVHD)の診断と治療に関する研究 11 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究

臨床 医 学 部 門	眼科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮膚科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的研究 2 メラニン合成関連遺伝子の構造と機能の研究 3 悪性黒色腫の進展と転移に関わる細胞遺伝子の研究 4 悪性黒色腫の診断と治療に関する臨床研究 5 悪性黒色腫におけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 6 皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究とその臨床応用 7 皮膚腫瘍の微細構造の画像化と3次元解析 8 色素性乾皮症の迅速遺伝子診断の開発 9 ウイルス性皮膚疾患の病態とイミキモドの作用機序に関する研究 10 皮膚バリア機能に関与するABCトランスポーターの解析 11 日本と海外におけるアトピー性皮膚炎の疫学研究
	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 尿路感染症・性感染症の疫学的研究と臨床的研究 5 尿路粘膜における感染免疫学 6 尿路再生・再建医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術
	耳鼻咽喉科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究
	神経精神医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究 2 神経新生と神経回路網からみた内因性精神疾患（気分障害・統合失調症）の発症と病態に関する研究 3 アルツハイマー病の病態並びに治療法開発（新規向知性薬の探索）に関する研究 4 ヒト高次認知機能と視空間成立機構に関する神経心理学的研究 5 摂食障害の病態解析：低栄養がひきおこす脳神経回路網障害と嗜癖行動の関連性に関する研究 6 国際ネットワークに基づくブレインバンクの構築に関する研究 7 性同一性障害の心理的及び生物学的特徴に関する研究 8 集団精神療法および自助グループに関する臨床研究 9 コンサルテーション・リエゾン精神医学（緩和医療も含む。）に関する研究

臨床 医 学 部 門	放射線医学講座	<p><IVR部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 救急疾患を中心とした急性期Interventional Radiology (IVR)の他に、IVR oncologyなどの慢性期IVRの手技の改良 2 マイクロバブルを用いた造影超音波による腫瘍内micro flow の解析による種々の悪性腫瘍の空間的・時間的な微細血管構築・血流動態の解明の研究 3 IVR治療として、各種塞栓物質の性質の差異による塞栓効果とその臨床的効果の確立 <p><治療部門></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 癌悪性腫瘍の進展度に関する画像診断を用いた研究 3 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 4 悪性腫瘍に対するIVR及び化学・放射線併用療法の研究 5 放射性同位元素を用いた治療に関する研究 6 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 7 DNA修復能測定による放射線治療の有害事象の予測に関する研究 8 高精度放射線治療に関する研究 9 画像誘導放射線治療に関する研究
	麻酔科学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 周術期の疼痛の機序解明と鎮痛薬の有効な使用の基礎・臨床研究 2 癌性疼痛や神経障害性疼痛の機序解明と臨床へのトランスレーション 3 新しい麻酔薬デスフルランの気管支への作用機序の解明 4 心臓や血管内皮に対する麻酔薬の作用機序の解明 5 新しい筋弛緩薬ロクロニウムと拮抗薬スガマデクスの基礎的作用機序の解明 6 海馬における麻酔薬や毒ガスの作用機序の解明 7 敗血症や腸管虚血における病勢予測の新規開発 8 手術患者の麻酔の質を高める画期的モニタの開発と臨床試用 9 超音波ガイドによる末梢神経ブロックや中心静脈穿刺のイノベーション 10 困難気道患者の分析と革新的気道確保技術の研究
	地域医療総合医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 Common diseases の診断とマネジメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究
	臨床検査医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 分子機能解析を基盤とした癌の遺伝子診断法に関する研究 2 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究 3 感染症の遺伝子タイピングと院内感染対策への応用に関する研究 4 輸血検査の精度向上に関する研究 5 生体内微量物質の高感度検出法に関する研究 6 生体のストレス応答に関する研究 7 新規超音波検査法を用いた心機能評価に関する研究 8 造影超音波法による肝腫瘍の診断能向上に関する研究
	救急医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の臨床的研究 2 人工心肺を用いた心肺脳蘇生法に関する基礎的研究 3 人工心肺を用いた選択的脳低温療法の基礎的研究 4 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の臨床的研究 5 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 6 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 7 重症患者における急性血液浄化法に関する基礎的、臨床的研究 8 航空機による救急搬送体制の研究 9 災害医療に関する研究 10 中毒薬理に関する神経科学的研究

臨床 医 学 部 門	口腔外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 口腔癌の選択的動注化学放射線療法に関する研究 2 口腔癌のペプチドワクチン療法に関する研究 3 口腔癌の分子生物学的研究 4 口腔癌の機能温存療法に関する研究 5 口腔癌の低酸素環境下における抗癌剤耐性獲得機序の解析に関する研究 6 顎変形症の形態と機能に関する研究
	リハビリテーション 医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 1 最新の画像診断技術と病巣研究との融合から高次脳機能に迫る研究 2 三次元動作分析による治療効果判定に関する研究 3 慢性疼痛のメカニズム論に基づく薬物・運動療法に関する研究 4 高齢者の呼吸・嚥下の評価とリハビリテーションに関する研究 5 認知症における生活機能維持へのアプローチに関する研究
フ ロ ン テ ィ ア 医 学 研 究 所	分子医科学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 細胞生物学領域の医学研究およびその研究成果の応用
	ゲノム医科学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 ヒト癌の発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の機能の解明 3 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析 4 癌の遺伝子治療の基礎研究 5 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立
	組織再生学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 肝幹・前駆細胞の増殖及び成熟化機序の解明 2 小型肝細胞特異的遺伝子及びそのタンパク質の機能解析 3 肝幹・前駆細胞の移植による肝細胞置換と肝疾患治療への応用の試み 4 胎仔及び成体肝幹・前駆細胞を用いたin vitro肝組織形成 5 細胞外基質の肝組織形成における役割 6 胆管などの肝組織構造形成を制御する分子メカニズムの解析
	遺伝子工学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子工学技術の開発とそれを利用した疾患の病態解明と治療への応用を目指す研究 2 遺伝子治療を目的とした標的分子の探索 3 抗体治療（主にイムノトキシン）を目的とした標的分子の探索および抗体の開発
	病態情報学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト臨床試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
	神経再生医療学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	医生物学部門	<ul style="list-style-type: none"> 1 免疫学領域の医学研究及びその研究成果の応用
	動物実験施設部	<ul style="list-style-type: none"> 1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 抗菌ステロイドによる局所感染の防御と治療に関する研究 4 開発途上国の食品の食中毒菌汚染に対するPCRを用いた調査研究 5 開発途上国における仔牛下痢症の原因に対するPCRを用いた調査研究 6 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 7 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構

イ 保健医療学部

看護学科	基礎・臨床医学講座	<ol style="list-style-type: none"> 1 免疫細胞分化の多様性と疾患病態との関連 2 ソーティングネキシンファミリーによる高次機能の調節機構 3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究 4 保健医療情報管理に関する研究 5 メタボリックシンドローム、生活習慣病に関する臨床疫学研究 6 動脈硬化進展に関する新規分子マーカーの検索
	看護学第一講座	<p><基礎看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 4 看護教育・看護管理に関する歴史的研究 <p><成人看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クリティカル看護とその教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 救急医療従事者の心身の健康に関する研究 4 慢性病患者の病いに関する研究
	看護学第二講座	<p><母性看護学/小児看護学/看護管理学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助産師の実践に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援の実践 4 性教育に関する研究 5 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 6 小児の遊びと発達支援に関する研究 7 病児へ医療処置を説明することとプレパレーション 8 児童・生徒に対する喫煙防止教育方法の開発 9 小児看護学演習・実習に関する研究
	看護学第三講座	<p><地域看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保健師活動の理論と実践に関する研究 2 保健師のキャリア発達に関する研究 3 コーチングを用いた保健指導や相談に関する研究 4 育児支援に関する研究 5 不適切な養育（マルトリートメント）の予防と介入に関する研究 6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 7 コミュニティ・アセスメントに関する研究 8 訪問看護ステーションの基盤強化に関する研究 9 在宅療養者の家族の介護負担に関する研究 10 保健師の政策に関する教育についての研究 <p><老年看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 老年看護教育における高齢者理解を促進するための教授法に関する研究 2 認知症高齢者のリロケーション・ダメージに関する研究 3 地域における認知症予防・早期発見および生活援助に関する研究 4 高齢者の生活環境に関する研究 <p><精神看護学></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害のある人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究 4 精神障害を抱える人の子育てに関する研究 5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究

理学療法学科	理学療法学第一座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的・神経学的研究 2 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 3 脳卒中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 4 高齢者の運動機能と健康の関係 5 高齢者の動作・運動制御に関する研究 6 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究、固有受容性神経筋促通治療学 (P.N.F) の研究 7 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明及びその治療法の開発
	理学療法学第二座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 車いす/座位保持装置に関する研究 5 四肢関節・靭帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 6 感覚と運動の仕組み、及びそれらを応用した治療に関する神経科学的研究 7 運動器疾患の予防と治療のための運動学的及び疫学的研究 8 スポーツに関する神経科学的研究 9 医用画像による運動器障害理学療法評価に関する研究 10 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 11 身体運動時の骨格筋機能に関する研究 12 運動時の呼吸循環応答、及び内部障害に関する運動生理学的研究
作業療法学科	作業療法学第一座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法および作業科学の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究 7 運動器疾患に対する作業療法開発のための基礎研究 8 高次脳機能障害に対する作業療法の評価および治療介入効果に関する研究
	作業療法学第二座講	<ul style="list-style-type: none"> 1 発達障害の障害構造の解明および治療方法の確立 2 神経・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害・認知症の作業療法効果に関する研究 5 うつ病の認知行動療法的介入効果に関する研究 6 青年期アスペルガー症候群のグループ支援に関する研究 7 前頭連合野の機能解明とそのリハビリテーションに関する研究

ウ 医療人育成センター

教 養 教 育 科 目	哲 学 ・ 倫 理 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 ヨーロッパ思想の古典研究
	心 理 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理社会的ストレスの心理生理学および行動医学研究 2 心臓血管系血行力学及び自律神経調整機能無侵襲計測の開発と応用 3 血管健康マーカーの開発と応用 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 医療と法学に関する諸テーマの研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理 4 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学研究 5 日本とアメリカの医学・医療系教育における多文化医療教育 6 離島の子どもの身体観・健康観・医療観と医療環境とのかかわりに関する人類学的研究
	英 語	<ol style="list-style-type: none"> 1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論 3 日本学、日米比較文化論 4 関連性理論に基づく発話の解釈 5 言語接触と変異—スコットランドの言語社会を中心として—
	運 動 科 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病の予防及び体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者の医療費、ADL低下の抑制と健康習慣の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、並びに摂食障害に関する研究
	物 理 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 放射線防護と緊急被曝医療 2 国民保護のための核防護学 3 医学物理 4 蛋白質タンデムリピートの構造、機能及び分子進化に関する研究 5 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究
	化 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 非侵襲的生理イメージングの研究 3 磁気共鳴手法を用いた分子イメージング研究
	生 物 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 線虫類の系統分類学・生態学的研究 3 ライブセルイメージングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析 4 学生参加型授業の実践とその教育効果について
	数 学 ・ 情 報 科 学	<ol style="list-style-type: none"> 1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論 3 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 4 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究 5 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究 6 高精度反応時間計測システムの研究開発と臨床応用

エ 寄附講座

<p>緩和医療学講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 有効な緩和医療を提供するためのチームアプローチに関する研究 2 有効な緩和医療を提供するための患者評価法に関する研究 3 緩和ケアプログラムの地域介入と緩和ケア均てん化に関する研究 4 オピオイド感受性の個人差と遺伝子多型に関する研究 5 骨がん疼痛に対する新規治療法に関する臨床研究 6 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する臨床研究 7 難治性がん疼痛の神経科学的基盤解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究 8 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する基礎的研究
<p>分子標的探索講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 がん細胞におけるTGFβ/PP2A/P53シグナルの解明に基づくがんの治療法の開発（橋渡し研究） 2 がん細胞・炎症細胞、血管内皮細胞のモテリテシグナルの解明に基づくがん転移、慢性炎症の治療法の開発（橋渡し研究） 3 がん随伴繊維芽細胞を標的とした新規がん治療法の開発 4 膵がんの集学的遺伝子治療 5 大腸がんの化学予防に関する研究 6 組織リモルディングにともなう幹細胞活性化の機構解明
<p>生体工学・運動器治療開発講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動器疾患に対する新しい治療法の開発 2 人工関節置換術を用いた治療成績向上の戦略 3 関節疾患における生体工学的機能解析

オ 特設講座

<p>オホーツク医療環境研究講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 医師の地域偏在の課題解析及び対応策の研究 2 地域医療を担う医師を養成するための研修プログラム、研究カリキュラムの研究及び策定 3 地域の医師不足を補う手法の研究 4 地域医療を担う医師の養成と実施教育 5 地域医療に従事する医師への支援 6 札幌医科大学専門看護師教育課程への看護師派遣 7 地域病院における看護水準向上のための研修会の開催 8 心臓リハビリテーション指導士の養成と地域のリハビリテーション水準の向上のための教育手法の研究及び実施 9 理学療法士等の総合的理学療法、発達障害患者のケアに関する教育研究及び実施 10 作業療法士の手の外科に対する作業療法（ハンドセラピー）に関する教育研究及び実施
<p>道民医療推進学講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究 2 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究 3 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立 4 地域の医療水準を向上するためのコメディカルに対する教育・指導法の研究及び実践 5 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床 6 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践
<p>南檜山周産期環境研究講座</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究 2 地域において産科医師が安全に分娩業務を行う体制の構築に係る研究 3 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究 4 産科医・麻酔科医連携に関する調査・研究 5 地域における周産期医療水準の向上に係る調査・研究

(9) 文部科学省 G P の採択・実施状況

(平成24年10月1日現在)

ア 平成24年度がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

(ア) 事業名：北海道がん医療を担う医療人養成プログラム

(イ) 年次：平成24年度～平成28年度

(ウ) 概要：道内4つの医療系大学（札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学）が地域の医療機関と連携して、チーム医療研修、カンファレンスなどを行い、遠隔地の医療機関に従事するがん専門医療人に対して、高度ながん専門教育を受けられるようにし、地域のがん専門医療人の養成とがん医療人レベルの向上を図り、さらに、臨床を出発点とした最先端のがん研究の基盤づくりを推進する。

○北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

イ 平成20年度大学病院連携型高度医療人養成推進事業

(ア) 事業名：自立した専門医を育むオール北海道プラス1

(イ) 年次：平成20年度～平成24年度

(ウ) 概要：専門医を育成し、その専門医が大学あるいは教育病院で指導医として専門研修医の教育にあたるシステムを確立する。この間、道内全3医育大学間で共有した地域関連教育病院で幅広い一般診療経験を、道外の東京慈恵会医科大学が加わった4大学病院で高度な専門性を習得する。

○北海道大学、旭川医科大学、東京慈恵会医科大学と共同申請

ウ 平成24年度基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成事業

【医学・医療の高度化の基礎を担う基礎研究医の養成事業】

(ア) 事業名：死後画像診断力のある死因究明医養成プラン

(イ) 年次：平成24年度～平成28年度

(ウ) 概要：初期臨床研修医を対象とした死因究明医専修プログラムを設置し、死因究明医の育成を図るとともに、そのプログラムに死後画像診断演習を加え求められるスキルを取得する。

【グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実】

(ア) 事業名：地域拠点と連携によるICT連動型臨床実習

(イ) 年次：平成24年度～平成28年度

(ウ) 概要：臨床実習期間の延長と地域での長期実習に向けた取組を進め、実習を通じて多職種連携と医師の役割を学び、コミュニケーション能力を身に付けることで、患者等に対し配慮できる医師の育成を図る。

(10) 国際交流

ア 国際医学交流

北方圏諸国をはじめとする世界の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的な視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学語学研修への派遣、平成21年度から中国医科大学との臨床実習及び平成23年度から韓国カトリック大学との臨床実習について、相互交流を実施している。

(平成24年3月31日現在)

		フィンランド	カナダ	中国		アメリカ	韓国
協定締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トウルウ、 オウル、タンペレ、 ケルオ大学)	アルバータ 大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセッツ州立 大学	韓国カトリック 大学
開始年度		1977	1983	1984	2008	1994	2011
現協定期限		H24.5-29.5	H21.2-26.2	H22.4-25.3	H23.4-26.3	H22.9-25.8	H23.5-26.5
派遣	協定人数 (年間)	1名 (1～2ヶ月)	1名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	派遣総数	34名	37名	45名	3名	22名	
受入	協定人数 (年間)	1名 (1～2ヶ月)	1名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	受入総数	34名	29名	41名	3名	9名	
その他 協定の概要		・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配する。)					
学生派遣			【語学研修】 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名 19年度 8名 20年度 9名 21年度 中止 22年度 10名 23年度 8名 24年度 8名	【臨床実習】 21年度 中止 22年度 2名 23年度 2名 24年度 2名			【臨床実習】 23年度 2名 24年度 2名

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている（日本人、外国人の区別はない）。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。従って、毎年受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度12名 平成14年度15名 平成15年度18名 平成16年度13名 平成17年度17名 平成18年度10名
平成19年度15名 平成20年度13名 平成21年度7名 平成22年度5名 平成23年度6名

ウ 教員在外研究等

(平成24年3月31日現在)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	23年度	22年度		23年度	22年度		23年度	22年度
【アジア】			【中東】			【ヨーロッパ】		
インド		2	トルコ		2	イギリス	1	1
インドネシア	3		【アフリカ】			イタリア	9	3
韓国	18	21	ブルキナファソ	3		オーストリア	2	1
シンガポール	5	5	【オセアニア】			オランダ	8	1
カンボジア	1	1	オーストラリア	3	2	ギリシャ	2	1
タイ	8	4	ニュージーランド		1	スウェーデン	4	3
台湾	4	2	【北米】			スペイン		10
中国	4	13	アメリカ合衆国	79	12	スロベニア		2
バングラデシュ	1	2	カナダ	22		デンマーク		1
ベトナム		2	【中南米】			チェコ	5	
マレーシア		1	アルゼンチン	1	1	ドイツ	5	2
ミャンマー	1	1	キューバ		4	ルウェー	1	
モンゴル		2	プエルトリコ	1		ハンガリー		3
ラオス		1	メキシコ	2		フィンランド		4
						フランス	9	11
						ベルギー	2	2
						ポルトガル	3	2
						マルタ	1	
						合計	208	187

エ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- | | |
|------------------------|--|
| (1) 会議室 (1室)、研修室 (2室) | セミナーや共同研究に使用する。
(研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室) |
| (2) 多目的ホール (2室) | 国際友好・交流に使用する多目的ホール |
| (3) 宿泊室 (シングル3室、ツイン1室) | 外国人研究者が利用できる宿泊室 |

(11) 標本館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三橋 公平 (解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島 信之助 (法医学講座教授)
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊地 浩吉 (病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山崎 英雄 (生物学教授)
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森 道夫 (病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百々 幸雄 (解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高橋 杏三 (解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森田 匡彦 (法医学講座教授)
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐藤 昇志 (病理学第一講座教授)
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤田 典均 (病理学第二講座教授)
平成18年4月1日－平成22年3月31日	辰巳 治之 (解剖学第一講座教授)
平成22年4月1日－現 在	松本 博志 (法医学講座教授)

イ 概況

(平成24年10月1日現在)

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,320
模型	人体解剖模型 化石人骨模 ムラージュ 動物模型	129
光顕用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	41,773
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー ・検眼鏡・顕微鏡の変遷他	533
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	113
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	942
他の医学関係資料	パネル・写真・葉袋 大学関係資料他	473
合 計		45,283

ウ 利用状況

(平成23年度 単位:人)

利用の内訳		見学	情報機器の 使用	顕微鏡の 使用	ビデオ教材の 使用	セミナー 自習
学内	教職員	174	0	0	5	8
	学生	321	4	0	4	119
学外	医療関係者	3,432	0	66	2,079	554
計		3,927	4	66	2,088	681

2 学事事項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和35年度				995	68	14.63							昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				昭和54年度から大学入学者の選抜は、共通第1次学力試験と札幌医科大学の第2次学力試験により行われた
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				平成2年度から大学入試センター試験実施
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	平成5年度に保健医療学部が設置された
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	平成9年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会が複数化された
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	
平成24年度							565	110	5.14	249	90	2.77	

イ 定員及び現員数

(平成24年5月1日現在 単位：人)

学部	学年	入学員	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計			
			現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員	現員		
医学部	医学科	110	111 (35)	121 (35)	108 (29)	102 (25)	108 (28)	99 (30)									649 (182)	
保健医療学部	看護学科	50	50 (45)	50 (45)	49 (43)	51 (47)									200 (180)			
	編入学生数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)			
	計		50 (45)	50 (45)	49 (43)	51 (47)									200 (180)			
	理学療法学科	20	20 (9)	20 (5)	19 (6)	21 (11)									80 (31)			
	編入学生数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)			
	計		20 (9)	20 (5)	19 (6)	21 (11)									80 (31)			
	作業療法学科	20	20 (10)	20 (14)	21 (15)	22 (15)									83 (54)			
	編入学生数		0 (0)	0 ()	0 (0)	0 (0)									0 (0)			
	計		20 (10)	20 (14)	21 (15)	22 (15)									83 (54)			
	編入学生総計	90	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									0 (0)			
小計	90	90 (64)	90 (64)	89 (64)	94 (73)									363 (265)				
学部合計		200	201 (99)	211 (99)	197 (93)	196 (98)	108 (28)	99 (30)									1,012 (447)	
医学研究科	博士課程	50	50 (11)	47 (9)	49 (12)	52 (11)									198 (43)			
	地域医療人間総合医学	18	20 (8)	17 (4)	11 (5)	8 (2)									56 (19)			
	分子・器官制御医学	20	22 (1)	20 (3)	24 (5)	31 (9)									97 (18)			
	情報伝達学	12	8 (2)	10 (2)	14 (2)	13 (0)									45 (6)			
	修士課程	10	5 (2)	9 (5)											14 (7)			
	医科学	10	5 (2)	9 (5)											14 (7)			
	小計	60	55 (13)	56 (14)	49 (12)	52 (11)	0 (0)	0 (0)									212 (50)	
保健医療学研究科	看護学	博士課程前期	12	5 (4)	6 (4)	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)									19 (16)
	博士課程後期	2	1 (1)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	0 (0)									9 (9)	
	理学療法学・作業療法学	博士課程前期	12	11 (2)	11 (3)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									24 (5)
	博士課程後期	6	5 (1)	7 (0)	7 (2)	7 (1)	3 (1)	3 (1)									32 (6)	
	小計	32	22 (8)	25 (8)	17 (10)	11 (5)	6 (4)	3 (1)									84 (36)	
大学院合計		92	77 (21)	81 (22)	66 (22)	63 (16)	6 (4)	3 (1)									296 (86)	
助産学専攻科		20	20 (20)											20 (20)				
総合計		312	298 (140)	292 (121)	263 (115)	259 (114)	114 (32)	102 (31)									1,328 (553)	

※ () 内は女子学生数 (内数)

ウ 出身地別現員数

(平成24年5月1日現在)

課程	学年	出身地	1年			2年			3年			4年		
			道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医学部	人	68	43	111	83	38	121	72	36	108	76	26	102	
	%	61.3	38.7	100.0	68.6	31.4	100.0	66.7	33.3	100.0	74.5	25.5	100.0	
保健医療学部	人	88	2	90	89	1	90	87	2	89	88	6	94	
	%	97.8	2.2	100.0	98.9	1.1	100.0	97.8	2.2	100.0	93.6	6.4	100.0	
医学研究科	人	47	8	55	43	13	56	42	7	49	39	13	52	
	%	85.5	14.5	100.0	76.8	23.2	100.0	85.7	14.3	100.0	75.0	25.0	100.0	
保健医療学研究科	人	16	6	22	31	4	35	16	11	27				
	%	72.7	27.3	100.0	88.6	11.4	100.0	59.3	40.7	100.0				
助産学専攻科	人	20	0	20										
	%	100.0	0.0	100.0										
計	人	239	59	298	246	56	302	217	56	273	203	45	248	
	%	80.2	19.8	100.0	81.5	18.5	100.0	79.5	20.5	100.0	81.9	18.1	100.0	

課程	学年	出身地	5年			6年			道内計	道外計	合計
			道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医学部	人	79	29	108	72	27	99	450	199	649	
	%	73.1	26.9	100.0	72.7	27.3	100.0	69.3	30.7	100.0	
保健医療学部	人							352	11	363	
	%							97.0	3.0	100.0	
医学研究科	人			0			0	171	41	212	
	%			0.0			0.0	80.7	19.3	100.0	
保健医療学研究科	人			0			0	63	21	84	
	%			0.0			0.0	75.0	25.0	100.0	
助産学専攻科	人							20	0	20	
	%							100.0	0.0	100.0	
計	人	79	29	108	72	27	99	1,056	272	1,328	
	%	73.1	26.9	100.0	72.7	27.3	100.0	79.5	20.5	100.0	

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

卒業年次	卒業生	出身地		卒業年次	卒業生	出身地		卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和 29 年 (第 1 回)	36	22	14	昭和 49 年 (第 21 回)	84	74	10	平成 6 年 (第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年 (第 2 回)	41	35	6	昭和 50 年 (第 22 回)	77	57	20	平成 7 年 (第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年 (第 3 回)	47	41	6	昭和 51 年 (第 23 回)	65	54	11	平成 8 年 (第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年 (第 4 回)	66	58	8	昭和 52 年 (第 24 回)	80	62	18	平成 9 年 (第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年 (第 5 回)	69	60	9	昭和 53 年 (第 25 回)	92	74	18	平成 10 年 (第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年 (第 6 回)	58	49	9	昭和 54 年 (第 26 回)	90	81	9	平成 11 年 (第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年 (第 7 回)	67	54	13	昭和 55 年 (第 27 回)	94	84	10	平成 12 年 (第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年 (第 8 回)	62	54	8	昭和 56 年 (第 28 回)	95	81	14	平成 13 年 (第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年 (第 9 回)	59	35	24	昭和 57 年 (第 29 回)	95	84	11	平成 14 年 (第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年 (第 10 回)	59	32	27	昭和 58 年 (第 30 回)	107	96	11	平成 15 年 (第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年 (第 11 回)	63	54	9	昭和 59 年 (第 31 回)	99	87	12	平成 16 年 (第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年 (第 12 回)	65	58	7	昭和 60 年 (第 32 回)	94	90	4	平成 17 年 (第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年 (第 13 回)	66	54	12	昭和 61 年 (第 33 回)	97	90	7	平成 18 年 (第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年 (第 14 回)	62	58	4	昭和 62 年 (第 34 回)	86	75	11	平成 19 年 (第 54 回)	103	67	36
昭和 43 年 (第 15 回)	62	58	4	昭和 63 年 (第 35 回)	89	79	10	平成 20 年 (第 55 回)	103	73	30
昭和 44 年 (第 16 回)	80	71	9	平成 元年 (第 36 回)	116	96	20	平成 21 年 (第 56 回)	100	62	38
昭和 45 年 (第 17 回)	74	63	11	平成 2 年 (第 37 回)	92	79	13	平成 22 年 (第 57 回)	97	75	22
昭和 46 年 (第 18 回)	78	63	15	平成 3 年 (第 38 回)	101	85	16	平成 23 年 (第 58 回)	101	76	25
昭和 47 年 (第 19 回)	73	60	13	平成 4 年 (第 39 回)	99	84	15	平成 24 年 (第 59 回)	100	75	25
昭和 48 年 (第 20 回)	69	55	14	平成 5 年 (第 40 回)	107	87	20	合計	5,013	3,948	1,065

イ 保健医療学部

(単位：人)

卒業年次	看護学 卒業生数	理学療法学 卒業生数	作業療法学 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成 9 年 (第 1 回)	48	21	19	88	76	12
	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 10 年 (第 2 回)	51	25	22	98	72	26
	(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成 11 年 (第 3 回)	61	21	20	102	71	31
	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 12 年 (第 4 回)	54	23	23	100	78	22
	(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成 13 年 (第 5 回)	58	22	24	104	79	25
	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 14 年 (第 6 回)	54	24	21	99	76	23
	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成 15 年 (第 7 回)	57	27	24	108	93	15
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 16 年 (第 8 回)	53	23	21	97	83	14
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 17 年 (第 9 回)	52	21	23	96	83	13
	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 18 年 (第 10 回)	49	30	21	100	85	15
	(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成 19 年 (第 11 回)	56	23	23	102	91	11
	(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(0)
平成 20 年 (第 12 回)	49	22	21	92	82	10
	()	()	()	(0)	()	()
平成 21 年 (第 13 回)	52	18	19	89	84	5
	()	()	()	(0)	()	()
平成 22 年 (第 14 回)	55	23	22	100	89	11
	()	()	()	()	()	()
平成 23 年 (第 15 回)	52	21	23	96	93	3
	()	()	()	()	()	()
平成 24 年 (第 16 回)	50	21	21	92	86	6
	(57)	(21)	(16)	(94)	(77)	(17)
合計	801	344	326	1,471	1,235	236

※1 出身地は学位記記載の本籍地による

※2 () 内は編入学生数 (内数)

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98 回 (平成 16 年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成 17 年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第 100 回 (平成 18 年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第 101 回 (平成 19 年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第 102 回 (平成 20 年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第 103 回 (平成 21 年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第 104 回 (平成 22 年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第 105 回 (平成 23 年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2
第 106 回 (平成 24 年)	100	100	92	92.0	7	5	71.4	107	97	90.7

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93 回 (平成 16 年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成 17 年)	47	47	47	100.0	0	0	-	47	47	100.0
第 95 回 (平成 18 年)	45	45	45	100.0	0	0	-	45	45	100.0
第 96 回 (平成 19 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 97 回 (平成 20 年)	49	48	48	100.0	0	0	-	48	48	100.0
第 98 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 99 回 (平成 22 年)	55	55	55	100.0	0	0	-	55	55	100.0
第 100 回 (平成 23 年)	52	52	52	100.0	0	0	-	52	52	100.0
第 101 回 (平成 24 年)	50	50	50	100.0	0	0	-	50	50	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90 回 (平成 16 年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成 17 年)	52	50	46	92.0	0	0	-	50	46	92.0
第 92 回 (平成 18 年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成 19 年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成 20 年)	49	47	46	97.9	0	0	-	47	46	97.9
第 95 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96 回 (平成 22 年)	55	55	54	98.2	0	0	0.0	55	54	98.2
第 97 回 (平成 23 年)	52	51	50	98.0	0	0	-	51	50	98.0
第 98 回 (平成 24 年)	50	50	49	98.0	2	1	50.0	52	50	96.2

エ 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 39 回 (平成 16 年)	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 40 回 (平成 17 年)	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第 41 回 (平成 18 年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第 42 回 (平成 19 年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第 43 回 (平成 20 年)	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 44 回 (平成 21 年)	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第 45 回 (平成 22 年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第 46 回 (平成 23 年)	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2
第 47 回 (平成 24 年)	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0

オ 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 39 回 (平成 16 年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 40 回 (平成 17 年)	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第 41 回 (平成 18 年)	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第 42 回 (平成 19 年)	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第 43 回 (平成 20 年)	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第 44 回 (平成 21 年)	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第 45 回 (平成 22 年)	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第 46 回 (平成 23 年)	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7
第 47 回 (平成 24 年)	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0

(4) 研究生数

(平成24年5月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部 基礎医学	解剖学第一	3	1	医学部 臨床医学	内科学第一	7	6
	解剖学第二	16	3		内科学第二	25	11
	細胞生理学				内科学第三	18	18
	神経科学				内科学第四	1	0
	医学化学				神経内科学	5	1
	分子生物学				外科学第一	6	3
	病理学第一	2			外科学第二	1	1
	病理学第二	1			整形外科学	4	3
	微生物学				脳神経外科学	0	0
	薬理学				産婦人科学	0	
	衛生学				小児科学	19	10
	公衆衛生学	1			眼科学	1	
	法医学				皮膚科学	1	1
	医科知的財産管理学				泌尿器科学	0	
	フロンティア分子医科学				耳鼻咽喉科学	4	
	フロンティアゲノム医科学				神経精神医学	5	1
	フロンティア組織再生学	1			放射線医学	1	
	フロンティア遺伝子工学	1			麻酔科学	3	
	フロンティア病態情報学	1			地域医療総合医学		
	フロンティア神経再生医学	0			臨床検査医学		
フロンティア医生物学			救急医学	11	5		
教育研究機器センター			口腔外科学	6	3		
動物実験施設部			産科周産期科学				
附属総合情報センター	1		形成外科学	1	1		
基礎医学計	27	4	医療薬学				
保健医療学部	看護学			放射線診断学	6		
	理学療法学	0		病理診断学			
	作業療法学			集中治療医学	1		
	保健医療学部計	0	0	リハビリテーション医学	1		
医療人育成センター	物理学	0	0	臨床医学計	127	64	
	生物学			医学部計	154	68	
	化学	0					
	医療人育成センター計	0	0	合計	154	68	

(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	本学大学院修了者（博士課程）									一般論文提出者	合計	
		修士課程 医学	生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	総合医療人学	地域医療人学	御分子・器官学			情報御報医伝学
昭和34年度～平成12年度			49	81	16	228	297				671	1,325	1,996
平成13年度			1			11	16				28	48	76
平成14年度			3	2		11	16				32	37	69
平成15年度				3		11	18				32	43	75
平成16年度						1	2	14	26	4	47	43	90
平成17年度								17	33	2	52	19	71
平成18年度						1		13	19	17	50	17	67
平成19年度								4	11	5	20	30	50
平成20年度								10	16	5	31	21	52
平成21年度		7						10	11	7	28	17	45
平成22年度		8						11	12	7	30	4	34
平成23年度		9						8	22	6	36	17	53
計		24	53	86	16	263	349	87	150	53	1,057	1,621	2,678

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数

年度	区分 専攻 学位	本学大学院修了者						提一般出論者文	合計
		修士課程			博士課程				
		看護学	理学療法学・作業療法学		看護学	理学療法学・作業療法学			
平成11年度		9	6	3				0	18
平成12年度		6	4	3				0	13
平成13年度		4	5	5				0	14
平成14年度		8	8	3			1	3	23
平成15年度		6	2	3			2	1	14
平成16年度		6	6	7			1	1	21
平成17年度		7	7	4			1	4	23
平成18年度		5	7	3			2	4	21
平成19年度		7	9	3			3	2	24
平成20年度		8	3	7	2			1	21
平成21年度		4	7	3	0		1	3	18
平成22年度		3	8	6	1		3	3	24
平成23年度		4	8	3	1		2	1	20
計		77	80	53	4	16	23	1	254

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事落成
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事落成
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事落成
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事落成
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事落成
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成10年4月1日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センターを設置
平成14年10月1日	高度救命救急センターを設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	NICUを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行
平成21年4月1日	がん診療連携拠点病院指定
平成21年8月24日	肝疾患診療連携拠点病院指定
平成23年4月1日	神経再生医療科を新設し、放射線科を放射線治療科及び放射線診断科に改正
平成24年9月1日	第2外科を心臓血管外科及び呼吸器外科に改正

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	—	昭和35年3月31日	瀧本庄蔵
昭和35年4月1日	—	昭和39年3月31日	南浦邦夫
昭和39年4月1日	—	昭和41年3月31日	高山坦三
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	末吉利三
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	浜谷松夫
昭和49年4月1日	—	昭和51年3月31日	立野誠吾
昭和51年4月1日	—	昭和53年3月31日	橋場輝芳
昭和53年4月1日	—	昭和55年2月8日	河邨文一郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年2月29日	神村瑞夫
昭和55年3月1日	—	昭和57年3月31日	神村瑞夫
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	漆崎一朗
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日	熊本悦明
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	小松作蔵
平成2年3月1日	—	平成4年2月8日	谷内昭
平成4年2月9日	—	平成4年2月29日	谷内昭
平成4年3月1日	—	平成8年2月29日	飯村攻
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	形浦昭克
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	千葉峻三
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	工藤隆一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	並木昭義
平成16年3月1日	—	平成20年3月31日	島本和明
平成20年4月1日	—	平成24年3月31日	塚本泰司
平成24年4月1日	—	現 在	平田公一

(事務代理)

(事務代理)

(事務取扱)

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
第一内科		31,564	32,721	32,941	16,935	18,088	18,552
第二内科		46,276	47,483	47,055	17,281	17,677	18,080
第三内科		15,483	17,069	15,549	14,864	14,891	14,525
第四内科		23,879	23,468	22,227	23,265	24,385	23,932
神経内科		10,728	10,519	10,182	8,267	9,175	8,798
第一外科		16,912	17,548	17,881	17,753	17,843	17,530
第二外科		5,854	6,045	6,132	11,030	12,232	11,776
整形外科		29,560	30,602	31,230	18,996	17,261	18,518
脳神経外科		11,953	11,415	11,692	11,466	11,748	13,762
婦人科		18,197	19,739	20,332	13,424	13,651	14,163
産科周産期科		2,357	3,941	4,642	11,693	11,500	11,360
小児科		12,653	15,370	15,261	10,329	8,816	9,024
眼科		28,758	27,352	28,310	12,120	12,780	12,741
皮膚科		28,512	28,714	28,925	9,208	9,397	9,675
形成外科		6,597	7,135	6,515	5,585	5,770	6,202
泌尿器科		19,206	21,076	20,223	10,076	11,352	11,357
耳鼻咽喉科		26,321	25,830	23,354	11,169	12,020	11,595
神経精神科		26,228	25,846	26,853	12,038	12,351	12,438
放射線治療科※1		38,530	38,526	26,368	11,839	11,908	12,911
放射線診断科		-	-	13,909	-	-	6
麻酔科		12,869	10,136	9,947	1,561	1,615	912
総合診療科		3,852	3,364	4,390	99	0	3
歯科口腔外科		27,922	27,446	25,112	11,985	11,829	11,003
リハビリテーション科		38,389	41,496	45,356	5,073	5,981	6,794
神経再生医療科		-	-	133	-	-	0
救急集中治療部		796	1,639	1,631	6,150	7,653	8,317
計		483,396	494,480	496,150	272,206	279,923	283,974

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
第一内科		130.4	134.7	135.0	46.4	49.6	50.7
第二内科		191.2	195.4	192.8	47.3	48.4	49.4
第三内科		64.0	70.2	63.7	40.7	40.8	39.7
第四内科		98.7	96.6	91.1	63.7	66.8	65.4
神経内科		44.3	43.3	41.7	22.6	25.1	24.0
第一外科		69.9	72.2	73.3	48.6	48.9	47.9
第二外科		24.2	24.9	25.1	30.2	33.5	32.2
整形外科		122.1	125.9	128.0	52.0	47.3	50.6
脳神経外科		49.4	47.0	47.9	31.4	32.2	37.6
婦人科		75.2	81.2	83.3	36.8	37.4	38.7
産科周産期科		9.7	16.2	19.0	32.0	31.5	31.0
小児科		52.3	63.3	62.5	28.3	24.2	24.7
眼科		118.8	112.6	116.0	33.2	35.0	34.8
皮膚科		117.8	118.2	118.5	25.2	25.7	26.4
形成外科		27.3	29.4	26.7	15.3	15.8	16.9
泌尿器科		79.4	86.7	82.9	27.6	31.1	31.0
耳鼻咽喉科		108.8	106.3	95.7	30.6	32.9	31.7
神経精神科		108.4	106.4	110.1	33.0	33.8	34.0
放射線治療科※1		159.2	158.5	108.1	32.4	32.6	35.3
放射線診断科		-	-	57.0	-	-	0.0
麻酔科		53.2	41.7	40.8	4.3	4.4	2.5
総合診療科		15.9	13.8	18.0	0.3	0.0	0.0
歯科口腔外科		115.4	112.9	102.9	32.8	32.4	30.1
リハビリテーション科		158.6	170.8	185.9	13.9	16.4	18.6
神経再生医療科		-	-	0.5	-	-	0.0
救急集中治療部		3.3	6.7	6.7	16.8	21.0	22.7
計		1,997.5	2,034.9	2,033.2	745.4	766.9	775.9

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区分	年度	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影	28,549	35,290	63,839	39,654	39,670	79,324	31,549	35,889	67,438
	断層撮影			0			0			0
	造影検査	2,311	684	2,995	2,447	678	3,125	2,510	589	3,099
	血管造影	1,610	185	1,795	2,182	200	2,382	1,781	194	1,975
	乳腺撮影	91	1,065	1,156	29	1,314	1,343	44	1,402	1,446
	骨塩検査	142	961	1,103	167	887	1,054	108	860	968
	C T 検査	10,116	14,540	24,656	11,234	14,919	26,153	10,711	14,954	25,665
	M R 検査	2,829	6,712	9,541	3,016	6,896	9,912	2,919	6,562	9,481
	R I 検査	1,319	1,384	2,703	1,445	1,265	2,710	1,163	1,195	2,358
	P E T / C T	44	680	724	46	997	1,043	64	1,015	1,079
	画像出力			2,313			2,715	1,806	6,343	8,149
放射線治療			19,112			19,099	13,330	8,741	22,071	
合計	47,011	61,501	129,937	60,220	66,826	148,860	65,985	77,744	143,729	
画像出力枚数	半切			946			457			387
	B			75			42			94
	乳腺用			2,217			2,662			0
	C D / D V D			2,031			2,533			4,473
	合計			5,269			5,694			4,954

※平成17年5月より、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っています。

イ 検査部・病理部・医療材料部検査件数

区分	年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数
検査部	血液検査	217,979	6,294,383	255,860	8,019,118	263,074	8,165,079
	緊急検査	1,648,638	25,740,003	1,061,425	16,788,944	1,112,840	22,561,769
	尿検査	142,426	3,985,227	158,498	4,410,055	167,075	4,709,658
	輸血検査	61,456	2,628,363	67,485	2,803,714	67,612	2,786,223
	細菌検査	59,344	6,486,500	69,964	8,770,005	70,985	7,613,325
	生化学検査	1,171,068	28,944,828	1,907,327	39,353,839	1,982,332	39,169,133
	血清検査	92,842	7,184,034	102,712	9,026,485	85,469	11,639,419
	遺伝子検査	3,713	1,811,640	4,233	2,147,530	3,956	2,153,230
	生理機能検査	40,122	10,298,620	40,511	10,298,620	43,118	10,851,270
	検体検査管理加算料	388,809	44,958,589	449,521	51,749,211	433,025	58,620,990
	迅速検査管理加算料			188,699	1,886,990	237,913	2,379,130
	感染対策および研究協力等	243		218		343	
	検査部合計	3,826,640	138,332,187	4,306,453	155,254,511	4,467,742	170,649,226
	病理部	病理検査	19,518	11,013,100	19,632	11,490,300	21,655
病理診断料		10,599	4,345,590	9,332	3,848,820	9,187	3,850,680
病理部合計	30,117	15,358,690	28,964	15,339,120	30,842	17,090,650	
医療材料部	合計	5,989	11,190,050	5,856	13,923,550	6,100	14,798,990
総合	合計	3,862,746	164,880,927	4,341,273	184,517,181	4,504,684	202,538,866

ウ 薬剤部調剤件数
(ア) 年間調剤延数(入院)

科別	平成 21 年度			平成 22 年度			平成 23 年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	11,429	24,220	175,116	13,724	26,641	167,468	14,499	28,793	180,051
第二内科	12,971	35,373	253,501	12,478	35,104	266,299	13,320	38,943	298,846
第三内科	8,267	17,358	116,206	9,997	18,302	112,496	9,144	18,505	115,826
第四内科	13,725	32,344	219,515	16,492	34,248	214,647	17,732	35,474	211,495
神経内科	5,900	11,888	82,073	6,296	12,774	84,938	6,189	12,928	87,980
第一外科	12,780	23,579	150,703	13,886	24,367	137,130	14,162	27,101	153,321
第二外科	9,452	19,882	124,810	9,833	21,065	131,415	9,376	20,456	119,356
整形外科	8,483	18,064	135,816	7,877	15,338	93,647	9,537	17,689	113,906
脳神経外科	6,380	12,578	89,580	7,055	13,438	83,983	8,477	17,396	106,067
婦人科	8,945	11,661	63,736	8,812	12,140	68,431	8,624	11,642	63,898
産科周産期科	6,445	8,274	39,700	6,356	6,995	31,004	6,586	7,356	34,050
小児科	6,298	12,181	72,507	5,677	9,831	52,854	5,259	9,158	49,443
眼科	9,108	16,176	50,258	10,189	17,436	47,521	9,898	16,827	43,607
皮膚科	8,383	14,960	99,239	8,074	14,537	68,591	7,791	15,839	80,735
形成外科	2,063	3,537	20,781	2,194	3,818	16,439	2,343	4,387	20,037
泌尿器科	6,068	10,487	62,720	7,488	10,934	55,225	6,945	11,477	64,264
耳鼻咽喉科	7,784	13,582	88,486	7,907	12,852	71,516	9,325	15,800	87,940
神経精神科	8,242	18,726	129,066	8,719	20,628	132,879	9,924	22,717	148,264
麻酔科	1,240	2,158	19,367	1,132	2,239	19,756	679	1,551	14,509
総合診療科	176	386	3,154	154	733	5,317	124	334	2,525
神経再生医療	-	-	-	-	-	-	0	0	0
放射線治療科※1	6,142	10,503	76,568	7,270	11,315	68,381	7,000	11,949	77,139
放射線診断科	-	-	-	-	-	-	2	3	14
歯科口腔外科	8,126	10,775	63,516	7,814	9,805	38,520	6,936	9,485	41,138
リハビリテーション科	2,149	5,369	47,337	2,543	6,864	51,405	2,764	7,315	55,949
救急部	4,335	6,929	31,532	5,892	9,508	40,384	6,721	10,184	44,092
集中治療部	2,433	3,465	15,253	2,342	3,374	11,029	2,211	3,443	11,670
計	177,324	344,455	2,230,540	190,201	354,286	2,071,275	195,568	376,752	2,226,122

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

(イ) 年間調剤延数(外来)

科別	平成 21 年度			平成 22 年度			平成 23 年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	1,797	10,960	316,377	1,918	10,031	284,827	2,066	11,462	307,039
第二内科	2,041	12,696	413,609	2,036	12,300	388,873	2,151	12,608	406,622
第三内科	730	3,558	87,334	739	3,535	71,288	732	3,488	73,349
第四内科	1,319	7,004	146,118	679	3,411	64,189	723	3,567	82,139
神経内科	312	1,028	27,269	372	1,113	27,014	374	1,327	31,878
第一外科	749	2,518	60,340	894	2,815	62,294	890	3,036	67,354
第二外科	247	1,376	43,869	171	885	31,828	142	803	27,845
整形外科	894	2,075	55,203	888	1,697	38,875	1,103	2,273	48,866
脳神経外科	669	2,291	85,011	535	1,627	63,772	555	1,849	66,329
婦人科	142	218	4,713	164	221	3,804	236	487	9,277
産科周産期科	43	66	466	49	74	505	113	178	1,218
小児科	163	550	9,952	189	535	9,584	230	828	15,055
眼科	878	1,874	21,021	805	1,827	10,779	758	1,619	9,141
皮膚科	3,165	6,884	95,876	2,076	5,748	78,504	2,130	5,778	77,611
形成外科	171	286	5,675	171	228	3,252	158	259	3,469
泌尿器科	522	1,237	27,453	760	2,020	32,262	864	2,535	40,762
耳鼻咽喉科	417	877	17,416	371	712	13,038	387	797	14,714
神経精神科	1,555	6,330	171,067	1,194	4,958	132,475	1,378	5,752	144,717
麻酔科	1,397	6,595	129,034	1,020	5,510	86,952	1,084	5,663	87,703
総合診療科	18	47	1,270	28	84	1,634	7	27	362
神経再生医療	-	-	-	-	-	-	3	3	270
放射線治療科※1	68	194	4,141	29	44	1,411	56	94	2,760
放射線診断科	-	-	-	-	-	-	2	3	13
歯科口腔外科	526	752	7,413	496	750	3,822	504	789	5,443
リハビリテーション科	951	3,965	89,207	859	3,886	73,684	1,047	4,451	89,880
救急部	7	10	87	18	32	241	23	40	259
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18,781	73,391	1,819,921	16,461	64,043	1,484,907	17,716	69,716	1,614,075

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

(ウ) 年間入院注射処方せん延数

年度 科別	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	22,829	56,502	110,220	19,157	58,909	119,627	18,016	54,992	112,268
第二内科	17,098	33,910	103,764	14,466	39,230	76,471	16,543	47,443	101,515
第三内科	9,831	20,407	47,278	7,433	20,248	38,131	6,116	14,044	27,589
第四内科	32,069	74,080	164,644	24,918	68,580	156,052	24,178	70,733	170,209
神経内科	3,967	7,240	13,886	4,276	11,954	22,630	3,872	9,756	17,353
第一外科	23,426	47,144	88,252	17,641	41,457	73,039	17,316	42,394	75,571
第二外科	15,680	31,061	64,366	8,498	21,314	41,165	8,477	22,074	48,636
整形外科	13,113	25,992	41,096	7,537	18,634	25,585	8,150	20,432	40,233
脳神経外科	8,122	15,335	31,355	6,155	15,545	26,452	7,830	20,713	35,096
婦人科	8,581	19,876	43,834	6,354	20,534	35,405	5,918	19,221	31,950
産科周産期科	8,575	13,455	41,546	6,889	16,083	45,251	5,691	14,839	38,060
小児科	11,545	27,627	100,330	8,306	39,229	75,760	8,607	40,395	82,323
眼科	4,509	6,785	10,276	3,099	5,273	7,292	2,889	5,105	6,622
皮膚科	7,932	16,740	32,897	4,812	10,733	18,496	4,722	10,524	17,027
形成外科	2,647	5,740	11,602	1,034	2,932	5,762	997	2,120	4,181
泌尿器科	10,370	25,020	44,586	6,963	18,978	35,646	5,394	14,050	24,730
耳鼻咽喉科	8,052	15,767	25,413	5,129	11,918	21,701	5,312	12,988	23,639
神経精神科	3,474	6,223	10,344	810	1,634	2,868	859	1,482	3,260
麻酔科	518	858	1,314	383	596	852	203	300	630
総合診療科	66	93	195	0	0	0	3	5	7
神経再生医療	-	-	-	-	-	-	0	0	0
放射線治療科※1	5,876	11,342	22,322	4,341	11,290	21,660	3,108	7,713	34,815
放射線診断科	-	-	-	-	-	-	3	11	16
歯科口腔外科	8,721	12,634	23,287	6,013	12,370	20,229	6,112	12,289	19,438
リハビリテーション科	617	1,032	1,270	490	1,025	1,396	331	701	971
救急部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	227,618	474,863	1,034,077	164,704	448,466	871,470	160,647	444,324	916,139

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

(エ) 年間院外処方延数

年度 科別	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第一内科	17,805	96,574	3,505,669	18,429	99,621	3,462,928	19,049	106,436	3,606,540
第二内科	29,961	163,105	5,936,561	30,869	169,635	6,179,311	31,358	172,268	6,388,020
第三内科	8,922	34,088	893,479	9,712	34,824	832,443	8,721	31,891	793,511
第四内科	11,984	51,253	1,628,252	12,786	55,287	1,700,409	12,153	51,248	1,679,209
神経内科	6,229	26,791	1,013,710	6,166	25,545	980,711	6,245	26,001	983,490
第一外科	6,124	15,976	627,518	7,342	17,371	655,265	7,256	19,449	703,744
第二外科	1,803	9,787	328,609	1,844	8,964	301,260	2,084	9,933	329,053
整形外科	10,723	23,269	674,137	11,802	23,768	600,675	12,264	25,460	630,677
脳神経外科	4,182	12,477	579,786	4,377	12,702	563,500	4,482	13,416	581,217
婦人科	4,748	8,324	252,193	5,015	8,064	236,022	5,489	9,055	252,312
産科周産期科	1,329	1,853	21,309	1,328	1,937	25,116	1,391	2,036	23,616
小児科	7,109	20,611	530,966	7,519	21,481	544,930	7,150	21,018	553,510
眼科	13,951	28,593	314,591	14,205	28,246	215,797	14,548	29,700	230,259
皮膚科	14,575	39,631	647,529	15,153	40,791	568,513	15,504	42,216	582,969
形成外科	1,033	1,390	16,658	951	1,270	8,375	1,073	1,504	11,631
泌尿器科	5,762	9,496	380,727	6,690	11,668	434,773	6,831	11,875	498,017
耳鼻咽喉科	11,200	25,452	692,591	10,430	23,852	625,731	9,738	22,651	606,201
神経精神科	19,993	76,582	1,889,421	19,805	76,414	1,862,581	20,279	79,971	1,954,611
麻酔科	3,275	14,490	318,671	3,642	15,060	291,525	3,594	15,619	312,172
総合診療科	2,912	10,308	290,218	2,333	8,292	216,915	2,907	10,338	261,774
神経再生医療	-	-	-	-	-	-	80	252	11,180
放射線治療科※1	1,367	2,759	88,324	1,406	2,359	74,583	1,689	3,049	88,804
放射線診断科	-	-	-	-	-	-	23	36	837
歯科口腔外科	5,646	8,252	118,985	5,285	8,064	76,496	4,950	7,622	78,517
リハビリテーション科	2,554	9,121	202,143	2,843	10,281	216,388	2,769	10,770	228,282
救急部	46	186	3,066	64	222	3,856	69	306	6,637
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	193,233	690,368	20,955,113	199,996	705,718	20,678,103	201,696	724,120	21,396,790

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

工 手術部手術件数

(単位：件)

科 別	年 度		
	平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度
第 一 内 科	10	18	16
第 二 内 科	1	20	13
第 三 内 科	1	2	3
第 四 内 科	11	17	21
神 經 内 科	1	4	1
第 一 外 科	583	623	622
第 二 外 科	619	597	590
整 形 外 科	787	748	771
脳 神 經 外 科	279	289	281
婦人科・産科周産期科	754	725	816
小 児 科	3	7	10
眼 科	1,223	1,157	1,279
皮 膚 科	283	344	286
形 成 外 科	424	483	490
泌 尿 器 科	427	479	480
耳 鼻 咽 喉 科	458	434	396
神 經 精 神 科	64	57	38
放 射 線 治 療 科 ※ 1	-	3	2
放 射 線 診 断 科	-	-	-
麻 酔 科	40	41	29
総 合 診 療 科	-	-	-
歯 科 口 腔 外 科	525	565	569
リハビリテーション科	-	1	1
救急集中治療部	105	187	181
合 計	6,598	6,801	6,895

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

*形成外科の他科手術分含む。

(5) 分娩件数

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
件 数	310	317	352

(6) 病床数 (平成23年10月1日現在)

① 病棟別病床数

病棟名	室数	床数	特等		一等		一般		1床部屋	2床部屋	3床部屋	4床部屋	5床部屋	6床部屋	8床部屋	10床部屋	11床部屋
			室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟(第2内科・共用)	12	52			2	2	10	50	2	2		1		7			
11階南病棟(第3内科・共用)	14	51					14	51	4	1	3			6			
10階北病棟(第4内科・共用)	15	52	1	1	1	1	13	50	6	2				7			
10階南病棟(第1内科・共用)	15	51			2	2	13	49	4	4	1			6			
9階北病棟(皮膚科・形成外科・共用)	15	50			1	1	14	49	4	5				6			
9階南病棟(耳鼻咽喉科・内科共用)	15	50			1	1	14	49	5	3	1			6			
8階北病棟(脳神経外科・神経内科・共用)	14	43					14	43	3	4	1	1	5				
8階南病棟(整形外科・共用)	14	51			2	2	12	49	5	2				7			
7階北病棟(眼科・共用)	12	50			3	3	9	47	3	1	1			7			
7階南病棟(小児科)	13	41					13	41	5	1		1	6				
6階北病棟(婦人科・共用)	14	49	1	1			13	48	4	3	1			6			
6階南病棟(産科周産期、生殖内分泌科・共用)	9	37			1	1	8	36	1	3				5			
5階北病棟(第2外科・共用)	14	44	1	1	2	2	11	41	3	4		2	5				
5階南病棟(第1外科・共用)	14	51					14	51	3	3	2			6			
4階北病棟(神経精神科)	14	42					14	42	4	4			6				
4階南病棟(泌尿器科・麻酔科・共用)	14	42			2	2	12	40	3	5		1	5				
3階中央病棟(リハ科・神経内科・共用)	11	40					11	40		5			6				
2階南病棟(歯科口腔外科・共用)	13	42			2	2	11	40	4	2		1	6				
1階南病棟(放射線治療科・共用)	21	48			2	3	19	45	9	7			5				
高度救命救急センター	5	36					5	36					1	2	1		1
集中治療部門	5	16					5	16	2	2						1	
合計	273	938	3	3	21	22	249	913	74	63	10	7	45	71	1	1	1

1) 集中治療部門には人工透析室(6床)が設置している。

2) 等級別室料差額料金 特等:10,500円、一等:5,250円

② 診療科別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
第1内科	51	脳神経外科	38	耳鼻咽喉科	50	神経内科	29
第2内科	52	産科周産期科	37	神経精神科	42	形成外科	20
第3内科	51	婦人科	49	放射線治療科	48	神経再生医療科	-
第4内科	52	小児科	41	放射線診断科	-	救急部	36
第1外科	51	眼科	50	麻酔科	5	総合診療科	-
第2外科	44	皮膚科	30	歯科口腔外科	37	集中治療部	16
整形外科	51	泌尿器科	42	リハビリテーション科	16	合計	938

③ 特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
結核病床	11階南病棟	6
RI病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	11
	集中治療部門	10
CCU	集中治療部門	3
クリーンルーム	集中治療部門	3
NICU	6階南病棟	6
GCU	6階南病棟	6

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	平 成 2 1 年 度			平 成 2 2 年 度			平 成 2 3 年 度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科	2	1	3	2		2	2		2
第 二 内 科	3	3	6	2		2	4	2	6
第 三 内 科	1	1	2	1	1	2	1		1
第 四 内 科	4	1	5	1	1	2	1	1	2
神 経 内 科				3	1	4	1		1
第 一 外 科	2	1	3	3	1	4	2		2
第 二 外 科				1		1			0
整 形 外 科									
脳 神 経 外 科	1		1	1		1			
婦 人 科									
産 科 周 産 期 科									
小 児 科				1	1	2			
眼 科									
皮 膚 科									
形 成 外 科									
泌 尿 器 科	1	1	2	2		2			
耳 鼻 咽 喉 科									
神 経 精 神 科									
放 射 線 治 療 科 ※ 1							1		1
放 射 線 診 断 科									
麻 酔 科									
総 合 診 療 科									
歯 科 口 腔 外 科	1		1	1	1	2		1	1
リハビリテーション科									
救 急 集 中 治 療 部	1	2	3	2		2	1	2	3
院 外	4	2	6	4	1	5	5	3	8
計	20	12	32	24	7	31	18	9	27

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

(8) 医療相談状況(平成23年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	第一内科	第二内科	第三内科	第四内科	第一外科	第二外科	整形外科	脳神経外科	産科 産科 産科	婦人科	小児科	眼科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	放射線科	麻酔科	歯科 口腔外科	リハビリ センター	神経内科	形成外科	救急集中治療部	総合診療科	神経再生医療科	放射線治療科※1	放射線診断科	その他	合計
		入院	新規	103	167	76	100	75	91	145	86	73	41	69	66	35	69	52	48	17	3	57	35	90	31	417		1	15	1
院	継続	197	223	102	83	65	163	124	148	212	45	254	77	81	102	83	31	29	2	35	95	117	71	131	2		9		6	2,487
	計	300	390	178	183	140	254	269	234	285	86	323	143	116	171	135	79	46	5	92	130	207	102	548	2	1	24	1	13	4,457
外来	新規	171	85	76	76	75	37	288	50	29	136	70	123	44	61	71	114	25	9	46	35	74	48	11	8		16		9	1,787
	継続	351	176	105	131	121	41	196	80	68	198	164	94	89	43	60	192	9	7	34	117	154	87	8	11		3		3	2,542
計	計	522	261	181	207	196	78	484	130	97	334	234	217	133	104	131	306	34	16	80	152	228	135	19	19		19		12	4,329
	合計	822	651	359	390	336	332	753	364	382	420	557	360	249	275	266	385	80	21	172	282	435	237	567	21	1	43	1	25	8,786
備考		新規		3,757		件		43%		継続		5,029		件		57%		計		8,786		件		(100.0%)						

※1 平成23年度に放射線科を放射線治療科に名称変更

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比(%)	備考
小児医療関係	育成医療	554	2.9%	
	小児慢性特定疾患	403	2.1%	
	養育医療・その他	184	1.0%	
医療費支払援助		2,431	12.9%	
生活保護法関係		654	3.5%	
障害福祉関係		1,232	6.5%	
老人福祉関係		48	0.3%	
介護保健関係		515	2.7%	
特定疾患医療		1,069	5.7%	
労働災害関係		103	0.5%	
健康保険関係		2,407	12.8%	
年金・手当関係		499	2.7%	
家族問題		407	2.2%	
就職・社会復帰		175	0.9%	
退院・転院援助		333	1.8%	
院内連絡調整		2,534	13.5%	
院外連絡調整		1,950	10.4%	
受診援助・指導		367	1.9%	
その他		1,458	7.7%	
心理判定・カウンセリング		1,505	8.0%	
計		18,828	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成21年度	15,243,576,895	3,808,134,617	19,051,711,512	80.0	20.0	100.0
平成22年度	16,826,408,385	3,975,371,816	20,801,780,201	80.9	19.1	100.0
平成23年度	17,156,192,415	4,173,607,147	21,329,799,562	80.4	19.6	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度
	入院	外来			
初診料	入院	外来	7,457,795	8,612,224	9,126,446
	外	来	55,957,086	66,963,976	68,903,005
再診料	外	来	230,791,164	231,934,616	230,984,068
医学管理料等・在宅医療	入院	外来	62,577,496	61,752,052	82,582,922
	外	来	254,327,686	268,077,290	273,996,037
検査料	入院	外来	263,074,861	285,039,396	299,882,008
	外	来	932,756,272	970,313,135	1,024,868,314
画像診断料	入院	外来	153,803,646	138,589,547	157,003,142
	外	来	734,986,951	764,532,702	776,867,421
投薬料	入院	外来	235,190,275	230,759,325	238,756,781
	外	来	359,967,599	341,925,016	441,194,806
注射料	入院	外来	569,469,810	557,506,370	653,190,752
	外	来	668,339,802	767,410,988	777,216,810
処置料	入院	外来	166,361,196	138,945,610	136,389,174
	外	来	33,847,808	35,283,845	40,156,108
手術・麻酔	入院	外来	4,340,679,635	5,147,108,336	5,064,720,576
	外	来	82,959,523	74,432,440	92,267,257
その他	入院	外来	407,182,014	440,586,239	521,746,445
	外	来	454,200,726	454,497,808	447,153,321
入院料(出来高部分)	入	院	2,095,299,765	2,364,182,442	2,528,413,109
入院料(DPC部分)	入	院	6,472,084,410	6,974,203,970	6,976,727,080
室料差額	入	院	37,553,250	35,059,500	34,878,250
食事	入	院	432,842,742	444,063,374	452,775,730
計	入院	外来	15,243,576,895	16,826,408,385	17,156,192,415
	外	来	3,808,134,617	3,975,371,816	4,173,607,147

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

- 平成23年4月1日 医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置
医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更
- 平成24年3月31日 医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止

(2) 歴代研究所長

平成23年4月1日－現在 黒木由夫

(3) 歴代研究所副所長

平成23年4月1日－現在 澤田典均

(4) 組織

研究所に分子医科学、ゲノム医科学、組織再生学、遺伝子工学、病態情報学、神経再生医療学、医生物学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成24年10月1日現在)

部門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	計
分子医科学部門		1	1					2
ゲノム医科学部門	1	1		1			1	4
組織再生学部門	1		1	1		1		4
遺伝子工学部門				1	1			2
病態情報学部門	1		1	1				3
神経再生医療学部門	1		2	6※				9
医生物学部門								0
合計	4	2	5	10	1	1	1	24

※特任助教

(5) 研究計画の概要

ア 分子医科学部門

- ・疾患の発生メカニズムを細胞レベルで解明し、新たな診断、治療への応用を目指す研究

イ ゲノム医科学部門

- (ア) ヒト癌の発生機序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (エ) 癌の遺伝子治療の基礎研究
- (オ) ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立

ウ 組織再生学部門

- (ア) 肝幹・前駆細胞の増殖・分化能についての研究

- (イ) 体外で肝組織の形成を試みる研究
- (ウ) 細胞移植による肝臓病治療を可能にするための基礎研究
- (エ) ヒト肝幹・前駆細胞の研究
- (オ) 人工肝臓研究

エ 遺伝子工学部門

- ・遺伝子工学技術の開発とそれを利用した疾患の病態解明と治療への応用を目指す研究

オ 病態情報学部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) ヒト介在試験フィールドの構築
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

カ 神経再生医療学部門

- (ア) 幹細胞の増殖・分化に関する研究
- (イ) 幹細胞の分化制御に関する研究
- (ウ) 幹細胞の癌化に関する研究
- (エ) 傷害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究
- (オ) 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究
- (カ) 各種脳神経疾患への臨床研究
- (キ) 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究
- (ク) 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究
- (ケ) 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究

キ 医生物学部門

- ・免疫学などの医学研究及びその研究成果の応用を目指す研究。

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4月 1日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4月 1日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年 4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4月 1日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の7部門と1施設に再編
平成 24年 4月 1日	画像・映像支援部門を新設

(2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年 4月 1日－昭和45年 3月31日	小野江 為 則
昭和45年 4月 1日－昭和46年 8月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9月 1日－昭和50年 3月31日	田 中 護
昭和50年 4月 1日－昭和54年 3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4月 1日－昭和58年 3月31日	林 喬 義
昭和58年 4月 1日－昭和61年 3月31日	藪 英 世
昭和61年 4月 1日－平成 2年 3月31日	秋 野 豊 明
平成 2年 4月 1日－平成 6年 3月31日	森 道 夫
平成 6年 4月 1日－平成10年 3月31日	加 納 英 雄
平成10年 4月 1日－平成12年 3月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4月 1日－平成16年 3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4月 1日－平成20年 3月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4月 1日－平成22年 3月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4月 1日－現 在	藤 宮 峯 子

(3) 組 織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、画像・映像支援部門の8部門からなり、構成員は以下のとおりである。(平成24年10月1日現在)

部 門	部 門 長		臨床検 査技師	診療放射 線技師	電子顕微 鏡操作員	技能員	技師	計
	教授	准教授						
システム管理部門	1※							1
形態解析部門		1※	2					3
電子顕微鏡部門		1※			2			3
蛋白質解析部門	1※							1
遺伝子解析部門	1※							1
細胞バンク部門	1※					1		2
ラジオアイソトープ部門	1※			4				5
画像・映像支援部門	1※						3	4
合計	6※	2※	2	4	2	1	4	20

※兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験施設規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日－昭和59年3月31日	浦澤正三
昭和59年4月1日－昭和63年3月31日	森道夫
昭和63年4月1日－平成4年3月31日	藪英世
平成4年4月1日－平成8年3月31日	大鹿英世
平成8年4月1日－平成10年3月31日	新津洋司郎
平成10年4月1日－平成14年3月31日	今井浩三
平成14年4月1日－平成17年3月31日	青木藩
平成17年4月1日－平成19年3月31日	加納英雄
平成19年4月1日－平成22年3月31日	澤田典均
平成22年4月1日－現在	堀尾嘉幸

(3) 組織

(平成24年10月1日現在)

部長	副部長	主任技師	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣	庶務	計
1※1	1	1	1(1)※2	4(2)※2(1)※3	5(2)※3	1(1)※2	14

※1 兼務 ※2 () 内日々雇用職員再掲 ※3 () 内短時間勤務再掲

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会
感染防止委員会実験動物部会
札幌医科大学動物実験規程

(5) 事業の概要（平成23年度）

ア 施設利用者数 延べ 9,948 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数(受入頭数)	延べ飼育数
ラット	2,853	435,629
遺伝子改変ラット	35	9,811(内数)
マウス	5,408	1,376,288
遺伝子改変マウス	176	679,174(内数)
モルモット	239	5,429
ウサギ	5	2,161
ネコ	0	2,947
ブタ	0	0
サル	0	1,464
ウニ	60	240
イヌ	4	370

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ	イヌ
受入頭数	2,853	5,408	239	5	0	4
発病頭数	0	0	0	0	0	0
死亡頭数	0	2	0	0	0	0
剖検検査頭数	760	2,170	0	0	0	0
抗体検査頭数	211	88	-	-	-	0
培養検査頭数	0	0	0	0	0	0

7 附属総合情報センター

(1) 沿革

平成18年 4月

附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

(2) センター所長

平成18年 4月 1日 -平成22年3月31日 佐藤 昇 志
平成22年 4月 1日 - 在 当 瀬 規 嗣

(3) 組織

(平成24年 4月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
所 長	1 ※			1
副 所 長	1 ※	1		2
企 画 開 発 室	1			1
主 任 司 書			1	1
総 務 係		2		2
情報システム係		1	1	2
図 書 係			6	6
計	3	4	8	15

※ 兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設 置 場 所 等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (Windows 7 130台) 等 保健医療学部教育用機器 (Windows 7 69台) 等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1 階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設 置 場 所 等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、学術論文評価システム等	情報研究室他

ウ 地域医療支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	TV会議システム、病理画像診断サーバシステム等	情報研究室

エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣旨	主な機器	設置場所等
情報センターが整備する上記3システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク(SINET4)と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアーウォール、ウイルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟5階コンピュータ(サーバ)室

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項目	内容
延面積	4,140 m ²
閲覧席	293 席
情報コンセント	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
AV(視聴覚)端末	12 台
有料セルフコピー(コイン式)	3 台
有料プリンター(コイン式)	4 台

イ 蔵書

(平成24年3月31日現在)

項目		冊数
蔵書	図書	83,332冊
	製本雑誌	123,408冊
	計	206,740冊

項目		冊数
学術雑誌	和雑誌	3,388タイトル
	洋雑誌	3,070タイトル
	計	6,458タイトル
電子ジャーナル		6,021タイトル

ウ 入館者数内訳 (平成23年度)

(単位：人)

	開館日数	学内者					学外者	合計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全体	357日	14,124	147,551	4,884	3,572	170,131	8,093	178,224
うち土日祝	116日	2,467	38,946	977	792	43,182	2,202	45,384

※土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要 (平成23年度)

項目		利用数
利用状況	館外貸出	22,371冊 (うち本学卒業生5,612冊)
	相互利用 (学外からの受付)	6,147件 (うち道内医療機関等4,165件)
	相互利用 (学外への依頼)	4,001件

オ 地域医療支援 (平成23年度文献複写受付)

相互利用 (学外からの受付)	内訳	医療機関等	大学等	その他	計
	道内	4,107件	443件	55件	4,605件
	道外	381件	930件	231件	1,542件
	計	4,488件	1,373件	286件	6,147件

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

- ・米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

- ・国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

8 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) 歴代センター所長

平成19年4月1日－平成20年3月31日 濱田洋文

平成20年4月1日－平成23年5月9日 三高俊広

平成23年5月10日－平成24年3月31日 黒木由夫

平成24年4月1日－現在 佐藤昇志

(3) 組織

(平成24年10月1日現在)

所長	参事	副所長	事務職員	教員	特任教員	計
1※	1	2※	6	1※	2	12

※兼務

(4) 業務概要

ア 研究支援

○科学研究費助成事業等

文部科学省科学研究費助成事業をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等

○共同研究・受託研究・寄附金

本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付・あっせん・契約、寄附金の受入、経理等

○寄附講座・特設講座

産学連携の推進や奨学を目的とした寄附講座・特設講座の設置、経理等

イ 教育支援

○知財教育プログラム

医学研究者、地域医療従事者を対象とした知財教育の実施

○知的財産関係図書

知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

○相談受付

研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付

○知的財産管理

発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、知的財産にかかる各種契約等

○リエゾン（知財を核とした技術移転）

本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費助成事業

(単位：千円)

種 目	平成 22 年度							平 23 年度						
	新 規 応 募		交 付 内 定					新 規 応 募		交 付 内 定				
			(新規)			交付合計				(新規)			交付合計	
	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額
特定領域研究	2	16,000	0	0	0%	0	0	0	0	0	0	-	0	0
新学術領域研究(研究領域提案型)	8	971,650	0	0	0%	0	0	4	533,200	0	0	0%	0	0
新学術領域研究(公募研究)	3	23,075	0	0	0%	0	0	8	68,880	0	0	0%	0	0
基盤研究(S)	0	0	0	0	0%	0	0	1	200,000	0	0	0%	0	0
基盤研究(A)	2	100,000	0	0	0%	2	12,800	4	194,750	1	11,400	25.0%	2	20,900
基盤研究(B)	21	377,427	8	42,400	38.1%	25	99,200	21	359,448	6	27,500	28.6%	22	81,700
基盤研究(C)	89	403,207	22	33,900	24.7%	78	88,300	105	481,180	29	52,600	27.6%	81	99,400
挑戦的萌芽研究	45	195,954	6	7,900	13.3%	12	15,000	32	145,433	11	17,200	34.4%	18	22,900
若手研究(S)	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
若手研究(A)	4	57,436	0	0	0%	1	10,500	3	65,052	0	0	0%	1	9,200
若手研究(B)	102	449,830	25	39,300	24.5%	59	77,500	95	416,450	17	31,000	17.9%	46	63,200
研究活動スタート支援	3	7,500	1	1,260	100%	1	1,260	5	15,000	2	2,600	40.0%	3	3,760
奨励研究	1	1,000	0	0	0%	0	0	1	1,000	1	600	100%	1	600
特別研究促進費	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	0
特別研究員奨励費	2	7500	2	2,200	100%	4	3,173	1	3,000	1	700	100%	3	2,600
合 計	282	2,610,579	64	126,960	22.7%	182	307,733	280	2,483,393	68	143,600	24.3%	177	304,260

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 23 年度		平成 22 年度		平成 21 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	57	178,776	48	236,205	64	528,961
一般受託研究	50	19,181	47	18,724	46	31,747
合 計	107	197,957	95	254,929	110	560,708

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度
出 願	19	24	16	18	23	18
取 得	5	3	1	0	1	0

※出願数は、国際出願（PCT 出願）を含む。

9 緩和医療学講座

(1) 沿革

平成 20 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズの協力により寄附講座として緩和医療学講座を設置

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 20 年 4 月 1 日－平成 21 年 3 月 31 日	並 木 昭 義
平成 21 年 4 月 1 日－平成 22 年 3 月 31 日	晴 山 雅 人
平成 22 年 4 月 1 日－ 現 在	山 蔭 道 明

イ 代表教員

平成 20 年 4 月 1 日－ 現 在	岩 本 喜 久 子
----------------------	-----------

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

教授	准教授	講師	助教	特任講師	特任助教	事務職員	計
1 ※	1 ※	1 ※	1 ※	1	1	1	7

※兼務

(4) 研究計画の概要

緩和医療学講座の 5 年間における研究及び活動計画は以下の内容について実施し、その結果を公表する。

ア 実態調査

- (ア) 患者、家族の緩和医療、ケアに求めるもの
- (イ) 各職種医療者の緩和医療学及び体制に関する認識
- (ウ) 医学生、看護学生の緩和医療、ケアに関する認識

イ 研究課題

- (ア) 難治性がん疼痛患者の対応
- (イ) がん疼痛機序の研究
- (ウ) 化学療法による末梢神経障害機序の研究
- (エ) がん化学療法の適正な使用法と副作用対策
- (オ) 医療者のコミュニケーション能力の向上
- (カ) がん患者、家族及び遺族の苦悩の対応
- (キ) 地域医療との連携

ウ 啓発活動

- (ア) 医学生、看護学生、その他学生の講義と実習指導
- (イ) 医療者の講義と実施教育
- (ウ) 医療者向け講演会と市民講座の開催

各年度の活動、実績を基に次年度の具体的な研究、活動方針の企画及び 5 年間の目標達成を検討する。

10 分子標的探索講座

(1) 沿革

平成 20 年 5 月 1 日 日東電工株式会社の寄附により、分子標的探索講座を設立

(2) 担当教授

平成 20 年 5 月 1 日－現在 在 新 津 洋 司 郎

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

特任教授	特任助教	研究支援者	計
1	4	4	9

(4) 研究計画の概要

ア まず、p53 のがん抑制因子としての活性が、TGF β の作用に絶対的に依存していることを、in vitro、in vivo の系で証明し、次いで様々ながん腫におけるこのシグナルの異常を解析した上で、それによって低下したがん抑制活性を高める為の様々な治療戦略を開発する。

イ 細胞の運動シグナルのマスター分子である pkczeta の阻害分子を探索し、転移モデル、炎症モデルで有用性を検証する。

ウ がん随伴する線維芽細胞（がん細胞に様々な成長因子を与えている）に特異的に発現している受容体を介して、抗癌剤を取り込ませ死滅させるという、新しい概念の癌間質抑制療法を開発する。

エ 大腸がんの初期発生過程に GSTpi/Raf/ERK シグナルが関与していることを、in vitro、in vivo の系で証明し、GSTpi 阻害剤の化学予防薬としての有用性を検証する。

オ 肝組織再生時の星細胞の役割（幹細胞との相互作用）を明らかにし、他の組織においてもそのアナロジーが成り立つか否かを検証する。それと同時に星細胞における VA 受容体の同定を行いその役割についても調べる。

カ 臓器線維症の治療薬（VA-lip-siRNAHSP47）を開発し、臨床応用へと展開する。

キ 組織再生戦略として、線維化組織や異常な血行を再構築した上で、組織幹細胞を活性化させる、または多機能幹細胞（ips、ES、骨髄間葉系幹細胞）を外部から導入するという構想を具体化する。

11 生体工学・運動器治療開発講座

(1) 沿革

平成 24 年 4 月 1 日 バイオメット・ジャパン株式会社及びスミス・アンド・ネフュー
ー オーツペディックス株式会社の寄附により、生体工学・運動器
治療開発講座を設立

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 24 年 4 月 1 日 — 現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成 24 年 4 月 1 日 — 現在 名越 智

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任教授	計
1 ※	1 ※	3 ※	1	6

※兼務

(4) 研究計画の概要

下記の内容を実施することにより、運動器疾患の治療に用いる人工関節置換術における耐用年数や若年者の関節における生体工学的環境の改善といった課題に対して、臨床的アプローチのみならず基礎的研究による解決を目指し、特に運動器生体工学的研究と臨床における画像解析による運動器機能の再建、改善に関わる新たな知見を得ることを目的とする。

ア 運動器疾患に対する新しい治療法の開発

①骨切り術における三次元画像シミュレーション

②特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における術前計画と臨床成績

③特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立

④インプラントデザインの検証と開発

イ 人工関節置換術を用いた治療成績向上の戦略

①人工関節置換術に関する臨床的研究

②手術アプローチの開発と安全性の検証

ウ 関節疾患における生体工学的機能開発

①人工関節における生体工学的研究

②バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検証

12 オホーツク医療環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 8 月 1 日 北見赤十字病院からの申し出により特設講座としてオホーツク医療環境研究講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 8 月 1 日 ー 現在 篠村 恭久

イ 代表教員

平成 22 年 8 月 1 日 ー 現在 本谷 雅代

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

教 授	准教授	講 師	特任助教	事務職員	計
9 ※	1 ※	1 ※	3	1	15

※兼務

(4) 研究計画の概要

本講座では、地域医療を担う医療従事者に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究及びその実践を行うため、次の取組みを実施する。

ア 地域医療に従事する医師が精度の高い診断技術と適切な診療を行う判断力を養うため、教授方法の研究及びその実践

イ 看護ケアの充実・向上を図るため、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を持つ看護師を養成し、地域病院の看護師等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

ウ 地域のリハビリテーション水準の向上を図るため、専門の指導士を養成し、地域病院の理学療法士等への教育指導を行う体制の構築を行うとともに研修会等を開催

13 道民医療推進学講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として道民医療推進学講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 山下 敏彦

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 和田 卓郎

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

教 授	特任教授	特任講師	特任助教	計
4 ※	1	1	2	8

※兼務

(4) 研究計画の概要

地域医療の確保を目的に、地域医療を担う医師の養成に関する調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 地域特性を踏まえた医療ニーズの探索研究

地域にはそれぞれ固有の医療ニーズがあると考えられる。地域特異的な医療ニーズを明らかにすることにより、地域特性を踏まえた医療資源の効率的な提供方法を考案し、地域医療の質の向上を図る。

イ 地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究

地域医療に従事する医師に対する最新の医療知識・技術の教授方法の研究をすることにより、医療情報格差が生じないようなシステムの構築と教育研修の実践を行う。

ウ 地域医療機関の機能分化と連携方法の検討による医療供給体制の構築の確立

地域における医療供給体制の充実を図るための医療機関の機能分化と連携手法について研究する。

エ 地域の医療水準を向上するためのコメディカルスタッフに対する教育・指導法の研究及び実践

地域医療を担う看護師等に対する最新の医療知識の教授を行う。

オ 地域基幹病院と講座の医療情報の迅速な共有化手法を研究することによる遠隔診断・治療方法の確立及び臨床

大学と地域基幹病院と地域医療機関で医療情報を迅速に共有化することにより、専門医の的確な診断・治療助言ができるようなシステムを構築する。

カ 地域住民の健康意識向上のための啓発・教育に関する研究及び実践

地域住民の健康に対する知識や意識を高める手法を研究することにより、疾病の予防や医療費の低減を図る。また、公開講座などの実践を行う。

14 南檜山周産期環境研究講座

(1) 沿革

平成 22 年 9 月 1 日 北海道知事からの申し出により特設講座として南檜山周産期環境講座が発足

(2) 担当教授及び代表教員

ア 担当教授

平成 22 年 9 月 1 日 - 現在 齋 藤 豪

イ 代表教員

平成 22 年 9 月 1 日 - 平成 22 年 12 月 31 日 高 橋 円

平成 23 年 1 月 1 日 - 現在 齋 藤 豪

(3) 組織

(平成 24 年 10 月 1 日現在)

教 授	助 教	特 任 助 教	計
2 ※	2 ※	1	5

※兼務

(4) 研究計画の概要

深刻な産婦人科医不足の問題の解決に向けて、本講座では、地域の周産期医療を担う医師の養成、安全な分娩体制の構築等について調査・研究を行うため、次の取組を実施する。

ア 周産期医療を担う産科医師の養成に関する調査・研究及び実践

過疎地域において周産期医療を行うためには、個々の医師が分娩時に起こる様々な事象に適切に対処することが求められる。地域においてそのような技能と知識を習得できるような教授方法の開発と大学における地域周産期医療を担う人材の育成を行う。

イ 地域において産科医師が安全に分娩業務を行うための方法の研究及び臨床

産科医が自ら望んで地域に来て、安心して分娩業務を遂行するために、どのような体制を構築することが必要かについて調査し、産科医にとって魅力的な職場にする手法を研究する。

ウ 助産師をはじめとするコメディカルの養成に関する調査・研究及び実践

産科医が対応できないような場合でも、妊産婦あるいは胎児の状態の変化に対する的確な判断ができるような助産師・コメディカルを養成することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

エ 産科医、麻酔科医連携に関する調査・研究及び実践

緊急帝王切開をはじめとして、分娩に生じる様々な緊急事態に適切に対応するために必要な知識や手法の教授や研修会を開催することにより、地域における周産期医療水準の向上を図る。

加えて、産科医と麻酔科医の連携手法等の調査を行うことにより、地域における産科医の負担を軽減する手法を研究する。

15 平成24年度収入支出予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>6,458,000</u>	<u>業務費</u>	<u>28,920,643</u>
運営費交付金	6,458,000	教育研究経費	1,310,808
<u>学生納付金</u>	<u>887,342</u>	医薬材料費	7,387,488
学生納付金	887,342	診療経費	2,523,080
<u>附属病院収入</u>	<u>21,130,413</u>	管理経費	3,955,512
診療収入	21,130,413	人件費	13,743,755
<u>雑収入</u>	<u>979,112</u>	<u>財務費用</u>	<u>534,224</u>
負担金及び補助金	505,529	長期借入金償還費	534,224
科学技術研究費等間接経費	114,518	<u>受託経費</u>	<u>336,769</u>
その他雑収入	359,065	受託経費	336,769
<u>受託収入</u>	<u>336,769</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>641,000</u>
受託収入	336,769	寄附金事業費	641,000
<u>寄附金収入</u>	<u>641,000</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,086,998</u>
寄附金	641,000	施設整備費	566,998
<u>道費補助金</u>	<u>566,998</u>	機器整備費	520,000
施設整備費補助金	566,998	<u>目的積立金活用事業費</u>	<u>821,486</u>
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>	目的積立金活用事業費	821,486
医療機器整備費借入金	520,000		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>821,486</u>		
目的積立金取崩収入	821,486		
計	32,341,120	計	32,341,120

16 校舎等建物面積

(平成24年10月1日現在)
(単位：㎡)

用途別	建物別 計	大 学 校 舎								RI室・がん 研究所	臨海医学 研究所							
		東	棟	本部	棟	教育北	棟	教育南	棟			保健医療 学部	棟	臨床教育 研究	棟	基礎医学 研究	棟	更衣室
校	講義室・演習室	3,599	680	358	328	906	1,075	252										
	実験室・実習室	2,971	224		763	361	1,258	79	286									
	研 究 室	1,331	352				407	63	509									
	講 座 関 係	11,330	463	27	562		129	6,301	3,848									
	標 本 館	370							370									
	図 書 館	4,230							4,230									
	RI研究センター	1,212												1,212				
	動物実験施設部	1,360	1,065	295														
	講 堂	490							490									
	管理関係その他	31,628	5,154	1,245	895	474	4,769	7,605	11,311	175								
小 計	58,521	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,554	175	1,212	0							
研究 所	が ん 研 究 所	1,617												1,617				
	小 計	1,617												1,617				0
計	60,138	7,938	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,554	175	2,829	0							

用途別	建物別 計	附 属 病 院			体 育 館	弓 道 場	グランド 附 属 物 建	学 生 寮	保 育 所	看 護 師 宿 舎	国 際 医 学 交 流 セ ン タ ー	リハビ リテー ション 教 育 実 習 棟	交 流 会 館	フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	記 念 ホ ー ル	細 胞 プ ロ セ ッ シ ン グ 施 設	旧 臨 海 医 学 研 究 所	そ の 他
		中央診療 棟	外 来 診 療 棟	来 院 診 療 棟														
附 属 病 院	病 棟 関 係	24,635	22,253	2,382														
	外 来 関 係	8,632	901	7,731														
	中 央 部 門	11,373	10,257	1,116														
	管理関係その他	20,727	17,631	3,096														
	小 計	65,367	51,042	14,325														
体 育 施 設	1,741			1,440	139	162												
学 生 寮	1,190						1,190											
保 育 所	486							486										
看 護 師 宿 舎	2,847								2,847									
国 際 医 学 交 流 セ ン タ ー	618									618								
リハビ リテー ション 教 育 実 習 棟	778										778							
交 流 会 館	1,907												1,907					
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	553												553					
記 念 ホ ー ル	733													733				
細 胞 プ ロ セ ッ シ ン グ 施 設	364														364			
そ の 他	292																199	93
計	76,876	51,042	14,325	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	553	733	364	199	93	

総 計 137,014

平成24年度 札幌医科大学要覧

平成24年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学
事務局企画管理部経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線 2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
